

簡単にIllustratorからカットイングができる。

Plug-in Cutting Software

fine Cut 5 *for Illustrator*[®]

Windows[®]/Macintosh[®]

取扱説明書



株式会社
ミマキエンジニアリング

FineCut について

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
FineCutは、他のカッティングソフトウェアに無い直感的な操作と安定したカット環境をご提供いたします Adobe® Illustrator® のプラグインソフトウェアです。

システムとソフトウェアの必要条件

FineCut5 をインストールして使用するには、次の条件が必要です。

	Windows	Macintosh
パソコン	Pentium プロセッサ または互換プロセッサ搭載の IBM PC または互換機	Power PC を搭載した Macintosh
OS	Microsoft® Windows® 98, Windows® Me Windows® NT 4.0 (サービスパック 3 ~ 6a), Windows® 2000, Windows® XP (プロッタと USB 接続の場合は、 Windows2000 (サービスパック 3 以降)、 または WindowsXP (サービスパック 1 以降)	Mac OS 8.1J ~ 9.2.2J Mac OS X 10.1 ~ 10.3 (プロッタと USB 接続の場合は、 Mac OS 9.2.2J または Mac OS 10.2.6 以降)
モニター	800 x 600 ピクセル以上	
ソフトウェア	Adobe® Illustrator® 8J ~ 10J, CS	
プロッタ	Mimaki CG シリーズ、Mimaki CF-0912 シリーズ、HP-GL 準拠コマンド搭載プロッタ	

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり(バックアップを目的とする場合を除く)、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア(ワーク)等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

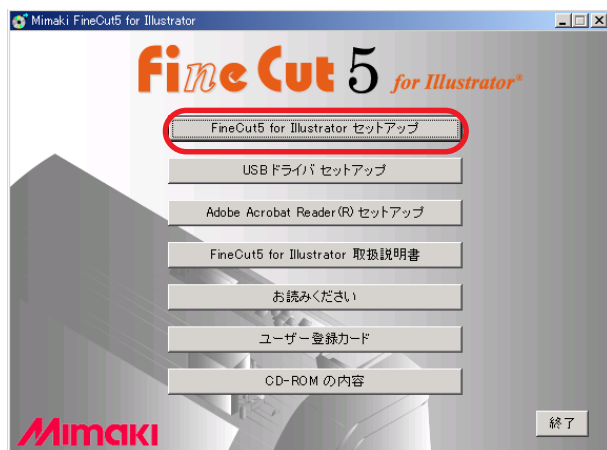
目次

FineCut をインストールする	2
インストール手順 (Windows をご使用の場合)	2
インストール手順 (Macintosh をご使用の場合)	5
ユーザ登録とパスワードの取得について	8
Macintosh 用 USB シリアル変換アダプタについて	9
この取扱説明書について	10
シリアル番号の入力	11
FineCut5 の新機能	12
カットしてみましよう	13
高度な使い方	19
オブジェクトを拡大 / 縮小する	19
位置合わせ用のマークをつける (センターマーク / コーナーマーク)	21
1 つのオブジェクトを複数カットする (コピー)	23
1 つのオブジェクトを分割してカットする (タイリング)	25
影 / ふち取りをつける	29
シール周りの不要な部分を剥がしやすくする	32
色別にオブジェクトをカットする	35
レイヤー別にオブジェクトをカットする	37
出力条件を設定する	38
カット終了後のヘッド位置 / 原点を設定する	45
シールをつくる	47
シートを有効に使う	61
トラッピング処理を行う	63
線幅・重なりを認識させる	65
カラーライブラリを使ってシート色を指定する	66
機能説明	70
FineCut メニューについて	70
オブジェクトの塗りと線について	72
プロッタ / ユーザ設定について	73
プロットダイアログについて	78
プロッタ出力ダイアログについて	85
こんな時は	88
索引	91

▶ FineCut をインストールする

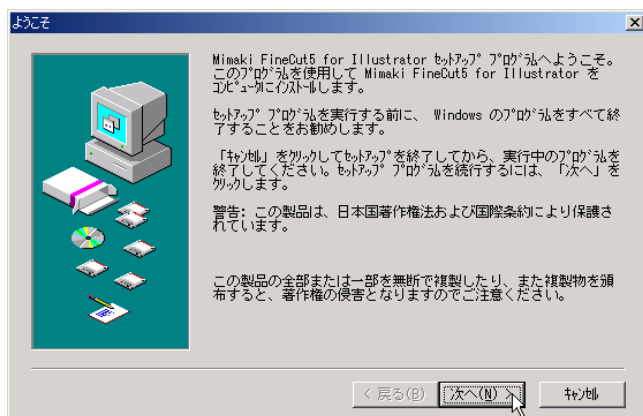
インストール手順 (Windows をご使用の場合)

- 1 パソコンの電源を ON にし、Windows を起動します。
- 2 FineCutCD-ROM をディスクドライブにセットします。
以下の画面を表示します。



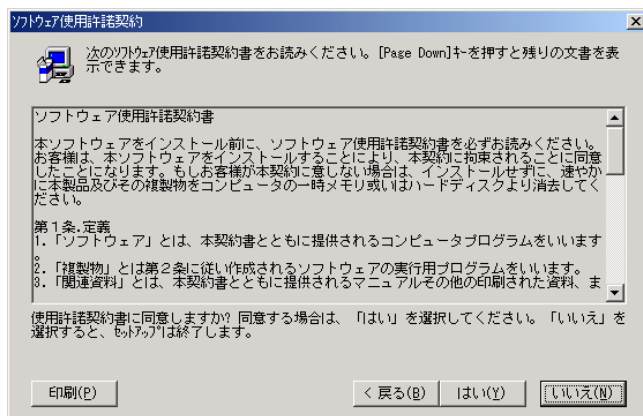
FineCut5 for Illustrator セットアップ をクリックします。

- 3 FineCut のセットアップ画面が立ち上がります。



次へ をクリックします。

4 「ソフトウェア使用許諾契約」を表示します。

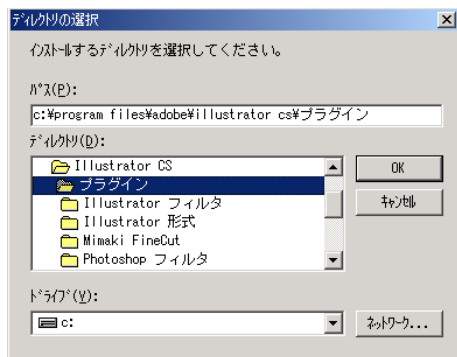


よくお読みの上、契約に同意する場合は、**はい**をクリックします。

5 インストール先選択画面を表示します。



参照をクリックし、使用するIllustratorのプラグインフォルダをダブルクリックします。



プラグインフォルダを指定後、**OK**をクリックします。

6 インストール先選択画面に戻ります。



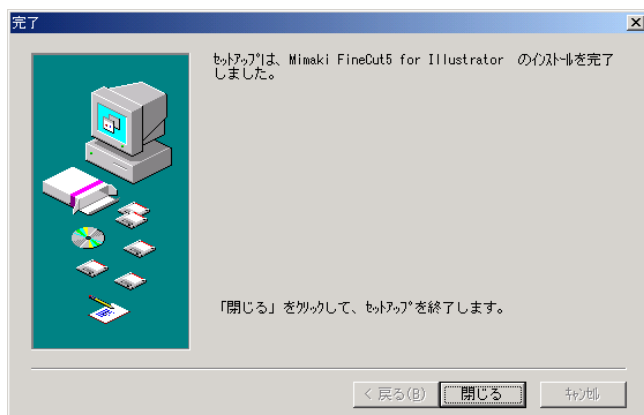
次へ をクリックします。

7 インストールが始まります。



インストールを中止する場合は、キャンセル をクリックします。

8 セットアップが終了します。



閉じる をクリックします。

これでFineCut (Windows 版) のインストールは終了です。

インストール手順（Macintosh をご使用の場合）

- 1 パソコンの電源を ON にし、Macintosh を起動します。
- 2 FineCut の CD-ROM をディスクドライブにセットします。
- 3 FineCut のアイコンをダブルクリックします。

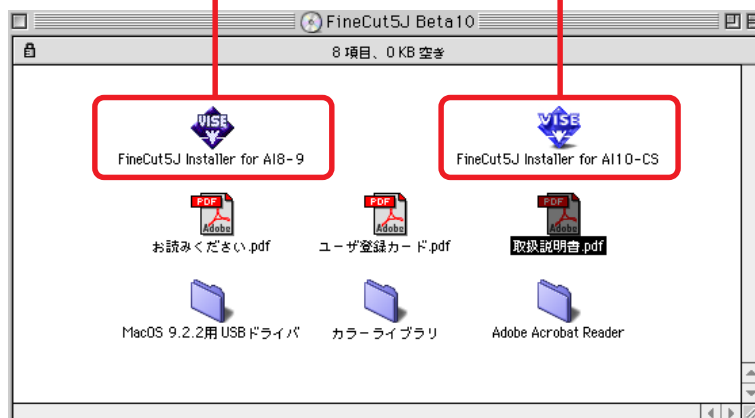


- 4 FineCut のフォルダが開きます。

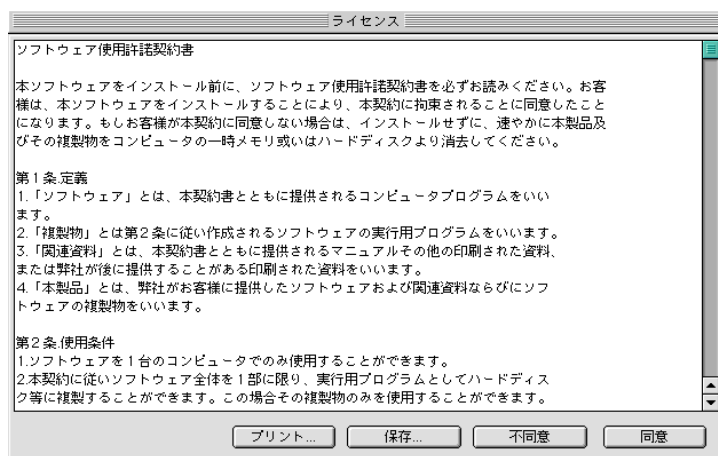
インストーラアイコンをクリックします。

Illustrator8.0Jまたは9.0J
をご使用の場合は、このアイ
コンをダブルクリックします。

Illustrator10.0J、CSをご
使用の場合は、このアイコ
ンをダブルクリックします。



5 「ソフトウェア使用許諾契約書」を表示します。



よくお読みの上、契約に同意する場合は、**同意** をクリックします。

6 インストール方法、インストール先を選択します。

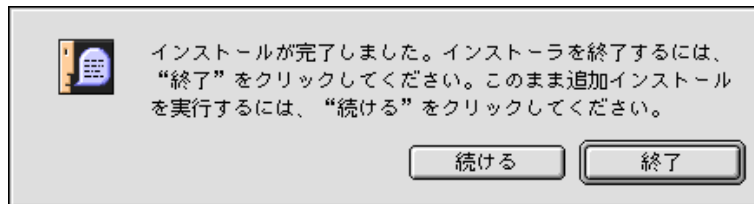
通常は「標準インストール」を選択し、Illustratorをインストールしてあるディスクを選択します。

インストール先を変更する場合は、**ディスクの切り替え** をクリックし、ディスクを選択します。



インストール をクリックすると、インストールを開始します。

7 インストールを終了します。



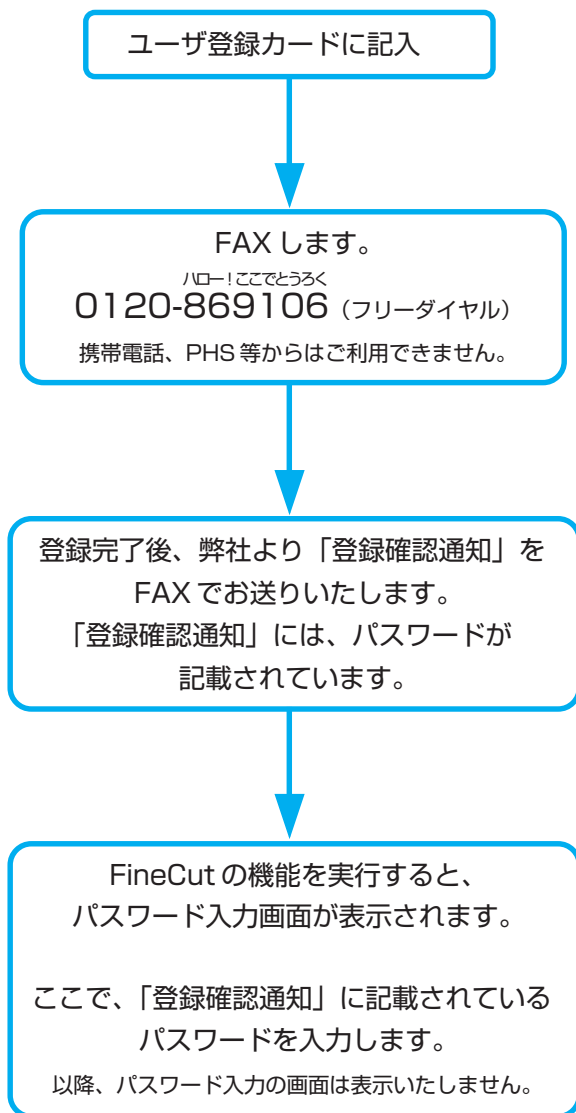
終了 をクリックします。

インストールを続行する場合は、**続ける** をクリックします。

これで FineCut (Macintosh 版) のインストールは終了です。

▶ ユーザ登録とパスワードの取得について ◀

同封のユーザ登録カードに必要事項をご記入のうえ、FAXでお送りください。
ユーザ登録が完了後、弊社ユーザー登録係よりパスワードを記載した登録確認通知をFAXにて発行いたします。
ユーザ登録していただきますと、無償バージョンアップ、サポートやミマキ新製品のお知らせ等のサービスが受けられます。必ず、ユーザ登録をしていただきますようお願い申し上げます。



FineCut には、パスワードの他にシリアル番号を入力するダイアログがあります。
(⇒ 11 ページ)

▶ **Macintosh 用 USB シリアル変換アダプタについて** ◀

Macintosh の USB ポートからプロッタのシリアルポートへ出力する場合は、USB-シリアル変換アダプタが必要です。

弊社では、オプション品の「USB-シリアル変換アダプタ（型番：OPT-SS036）」を推奨しております。

USB-シリアル変換アダプタは、コンピュータの OS（オペレーティングシステム）との問題により、正常に動作しないものがあります。他社製品をお使いになる場合は、OS との問題が無いか変換アダプタのメーカーにお問い合わせください。

この取扱説明書について

本書は、FineCutの機能について説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示する項目は、[ファイル]メニューのように[]でくくっています。
ダイアログに表示するボタンは、**プロット**のように でくくっています。
「FCフレームレイヤー」等、表示の「FC」はFineCutの略です。

マークについて



FineCut をお使いになる際に、注意していただく事を説明しています。



必ず、実行していただく事について説明しています。



知っていると便利な方法を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

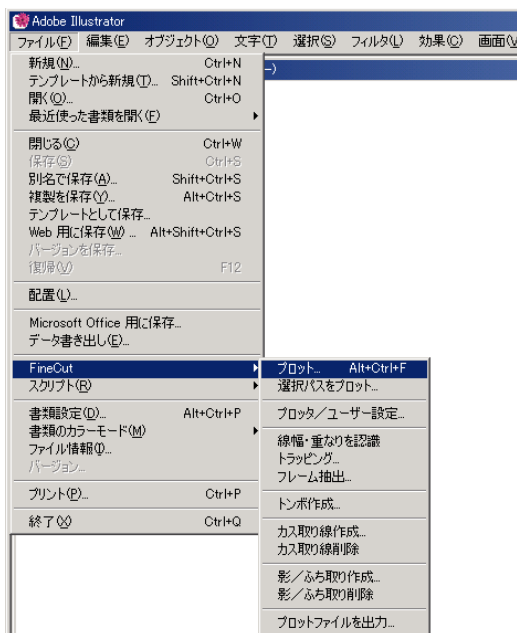
FineCut ダイアログについて

以下のダイアログはFineCutのダイアログです。
本文中では、「FineCutメニュー」と表記します。(⇒70ページ)

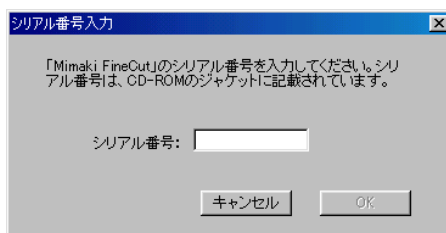


シリアル番号の入力

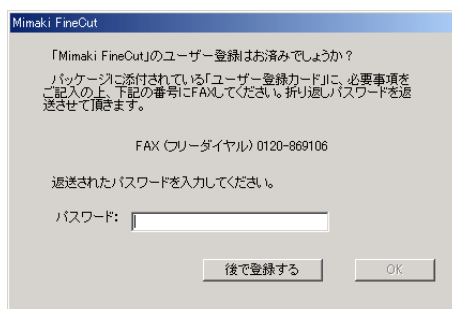
FineCut をインストール後、最初にFineCut 機能を実行すると、シリアル番号を入力するダイアログが表示されます。



CD-ROMが入っているジャケットに記載されているシリアル番号を入力し、**OK** をクリックします。



シリアル番号を入力後、パスワード入力ダイアログが表示されます。パスワードの取得方法は「ユーザー登録とパスワードの取得について」(⇒8ページ)を参照してください。



FineCut5 の新機能

新たに以下の機能を追加しました。

1. Adobe Illustrator CS 対応

Adobe Illustrator CSに対応しました。

2. カス取り線作成機能 (⇒32 ページ)

カットしたシールの不要な部分をはがしやすいように、オブジェクトの周りに切り込み（カス取り線）を入れることができます。

3. 影／ふち取り線作成機能 (⇒29 ページ)

4種類の影とふち取りが簡単に作成できます。

4. カラー／レイヤー別出力条件指定 (⇒42 ページ)

カラー／レイヤー別にそれぞれ出力条件を指定できます。

5. ダイレクト出力条件指定 (⇒85 ページ)

出力条件を登録していなくても、「プロッタ出力」ダイアログで条件を設定して出力できます。

6. シート内の移動／フィット (⇒81 ページ)

シートのセンターやコーナーに1クリックでオブジェクトを移動できます。
また、シートに収まる最大サイズにオブジェクトを拡大／縮小できます。

7. プロットファイルの保存／出力 (⇒87 ページ)

プロットコマンドのデータをファイルに保存し、出力することができます。

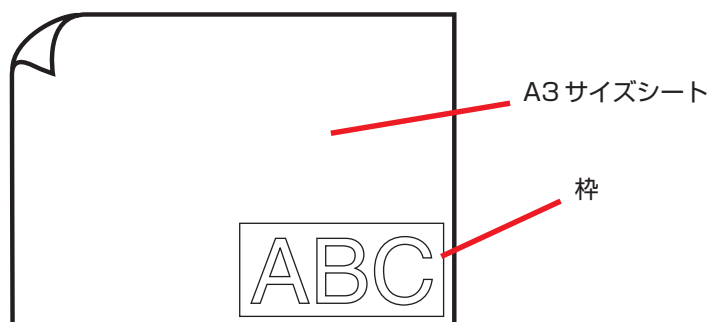
8. 最大カットサイズを 10 m → 51 m に拡大

51 m まで連続カットが可能になりました。

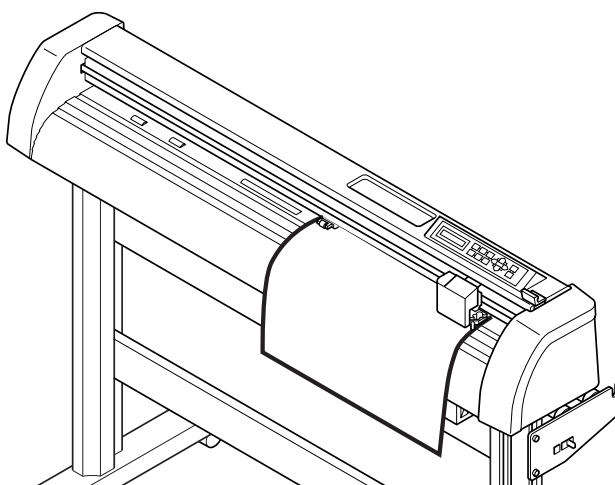
▶ カットしてみましょう

Mimaki CG シリーズを使用して、A3サイズのシートの右下に「ABC」をカットしてみましょう。

また、「ABC」の周り5mmの位置に、枠もカットしてみましょう。



- 1 プロッタにA3サイズのシートを横にセットします。



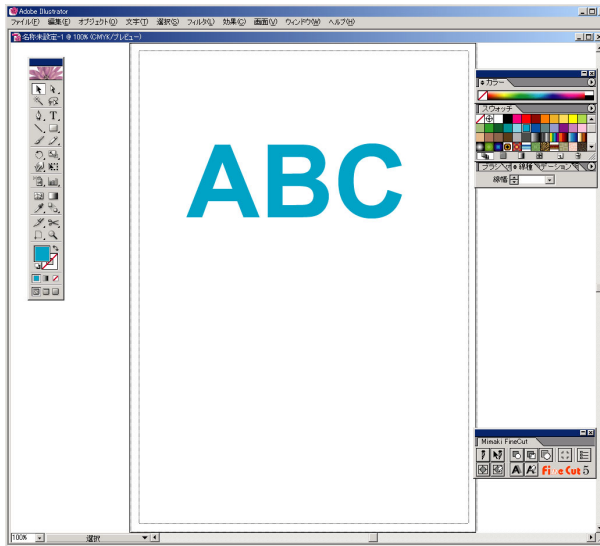
- 2 プロッタをリモートモードにします。



必ずリモートモードにしてください。ローカルモードのままだと、FineCutが、プロッタにセットしたシートサイズを読み込むことができません。

3 Illustrator を起動し、新規書類を作成します。
用紙のサイズを A3 サイズに設定する必要はありません。
自動的に「FineCut メニュー」を表示します。

4 文字ツールを使用して、「ABC」と入力します。



5 「FineCut メニュー」を表示しない場合は、Illustratorの[ウィンドウ]メニューから「FineCut メニューを表示」を選択します。



6 「FineCutメニュー」の[プロッタ/ユーザ設定...]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロッタ/ユーザ設定...]を選択します。



7 プロッタの設定を行います。

「プロッタ」、「通信条件」は、必ずプロッタと同じ設定値にしてください。
(⇒73 ページ)



入力する値がプロッタ側の設定値と異なると、正常にカットが行えません。



設定 をクリックします。

8

「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から、[プロット] を選択します。





有効カットエリア

(Mimaki CF シリーズでは、原点が左下のため、「ABC」は左下に表示します。)



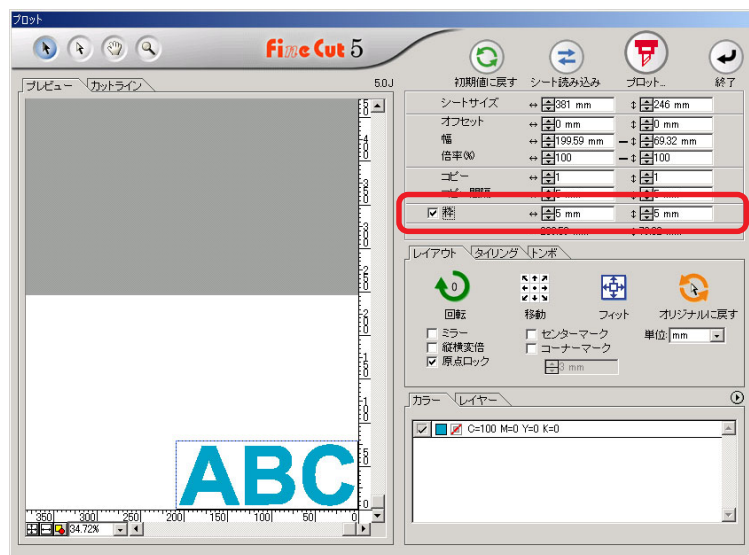
注意

シートの読み込みボタン (シートの読み込みボタン) の左横に  マークが表示される場合は、メディアのシートサイズが読み込まれていません。プロッタとの接続を確認し、プロッタをリモート状態にした後、 シートの読み込みボタンをクリックしてシートサイズを読み込んでください。

9

枠を設定します。

オブジェクトの周囲5 mmの位置に、矩形の枠をカットするように設定してみましょう。枠のチェックボックス をクリックし、チェックを付けます。横5 mm 縦5 mm と入力します。

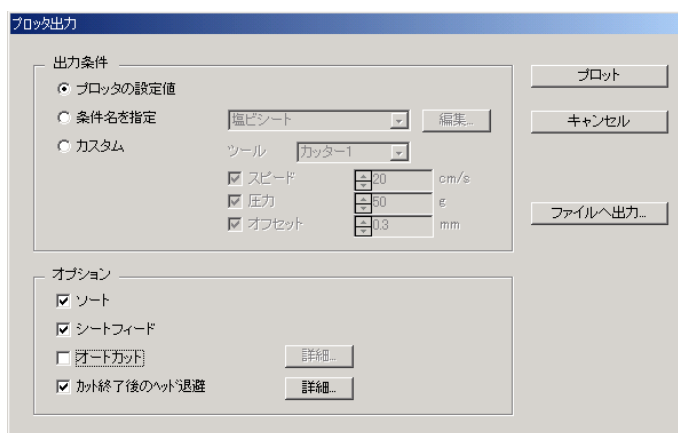


10



プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



出力に関する設定を行います。(⇒ 85 ページ)

プロッタで設定した出力条件を使用する場合は、「プロッタの設定値」を選択してください。



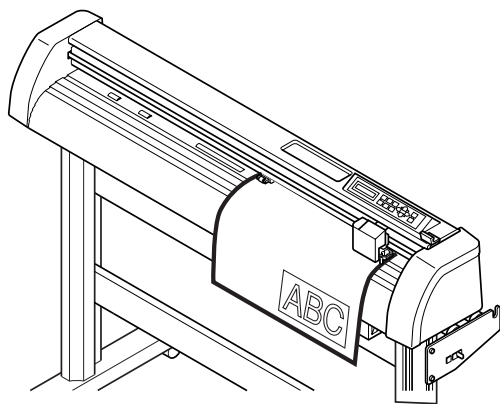
注意

必ず、プロッタにセットしてあるメディアにマッチした条件を設定してください。条件が異なる場合、正常なカット結果が得られないことがあります。

11 **プロット** ボタンをクリックします。

オブジェクトのカットを開始します。

シートの右下が原点のため、シートの右下原点位置に（Mimaki CFシリーズでは左下）にカットされます。



12 終了ボタンをクリックします。

プロットダイアログボックスが閉じます。

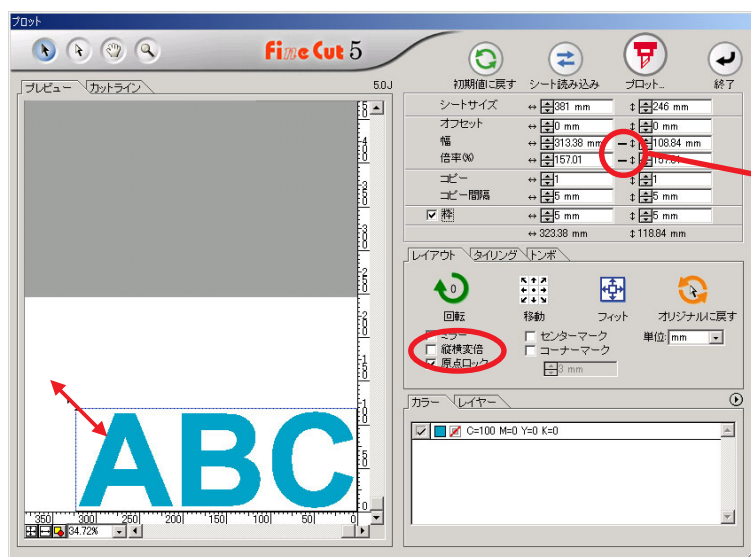
高度な使い方

オブジェクトを拡大 / 縮小する

オブジェクトの拡大縮小は、オブジェクトの端にマウスポインタを合わせてドラッグします。

1. 横幅と縦幅の比率を変えないでの拡大 / 縮小

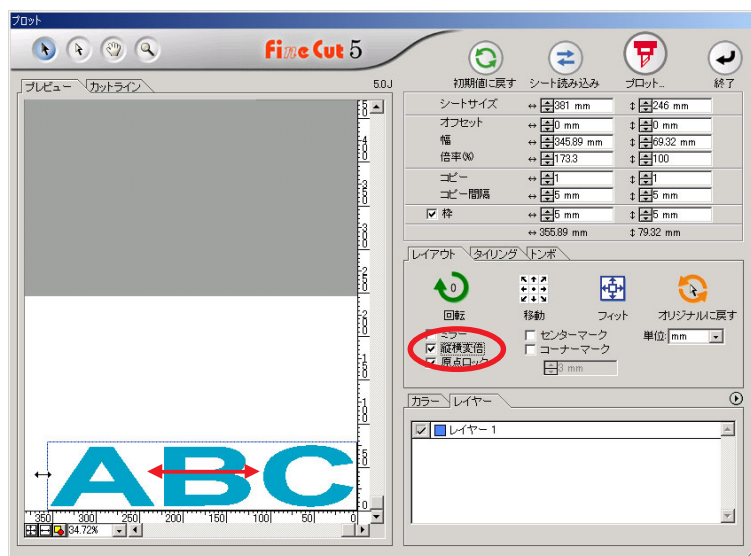
レイアウトメニューの「縦横変倍」のチェックボックスのチェックを外します。オブジェクトのスミをマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。

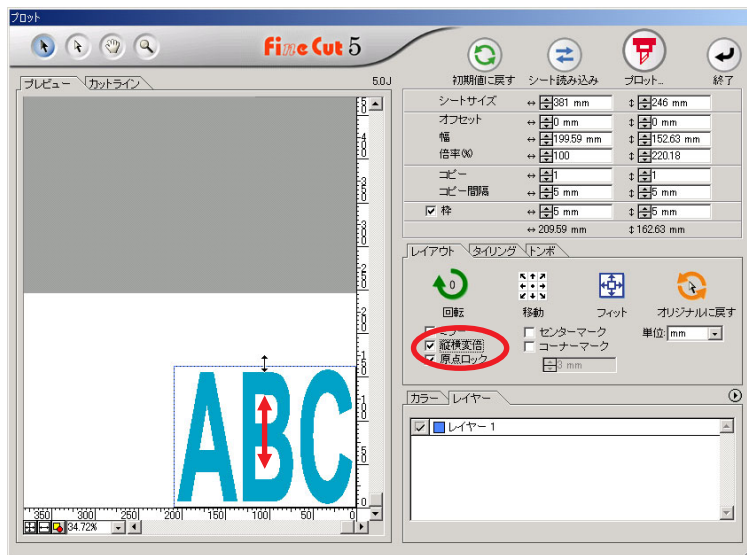


この表示は、横幅と縦幅の比率が固定していることを示します。
(⇒ 80 ページ)

2. 横幅または縦幅のみの拡大 / 縮小

レイアウトメニューの「縦横変倍」のチェックボックスにチェックを付けます。オブジェクトの左右どちらかの端、またはオブジェクトの上下どちらかの端をマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。





- ・「縦横変倍」指定時にキーボードの shift キーを押しながらドラッグすると、横幅と縦幅の比率を保ちながら拡大 / 縮小できます。
- ・ 横幅と縦幅のサイズを別々に変更した後に「縦横変倍」を無効にすると、変更したサイズの横幅と縦幅の比率を保持したまま拡大 / 縮小ができます。

正確な拡大 / 縮小を行う場合は、サイズ入力エリアの「幅」や「倍率」に値を入力します。

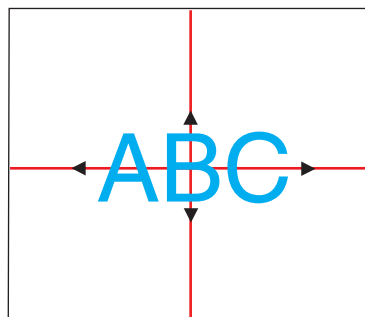
シートサイズ	↔ 200.05 mm	↓ 3000 mm
オフセット	↔ 0 mm	↓ 0 mm
幅	↔ 196.5 mm	↓ 68.13 mm
倍率 (%)	↔ 150	↓ 150
コピー	↔ 1	↓ 1
コピー間隔	↔ 10 mm	↓ 10 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 枠	↔ 5 mm	↓ 5 mm
	↔ 206.5 mm	↓ 78.13 mm

位置合わせ用のマークをつける (センターマーク/コーナーマーク)

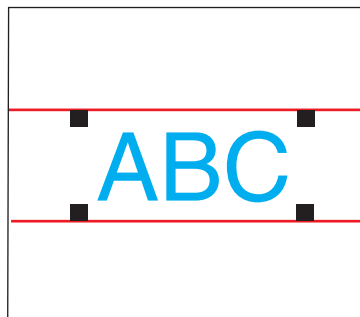
オブジェクトの枠にマークをつけると、カットしたシールを貼る際に、簡単に位置合わせができます。

シールを貼る位置に目安となる罫線をひきます。

カットしたシールは、下図のように罫線にマークを合わせて貼ることができます。



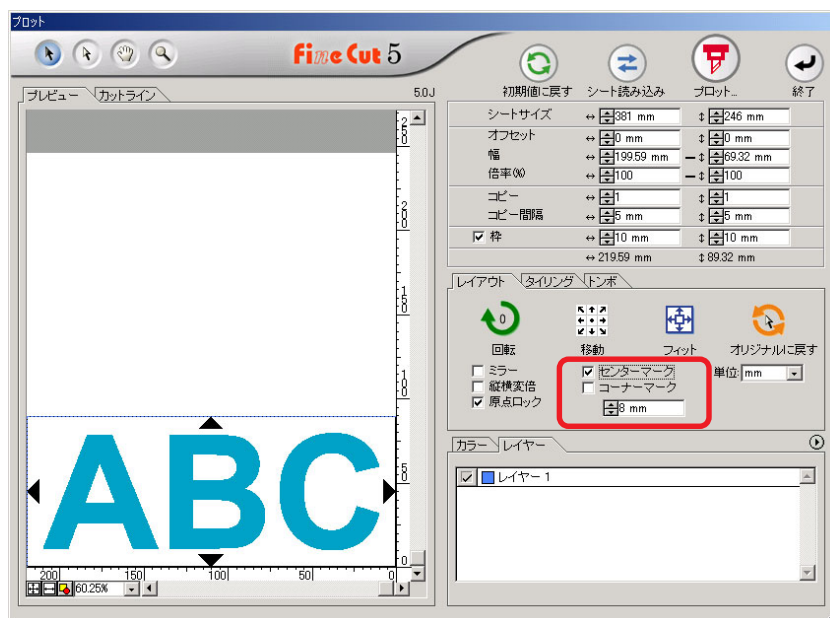
1. シールを貼る中心の位置を決め、罫線を引きます。
2. センターマークを罫線に合わせます。(希望の位置にシールを貼れます。)



1. 目安にする罫線を引きます。
2. コーナーマークを罫線に合わせます。(水平にシールを貼れます。)

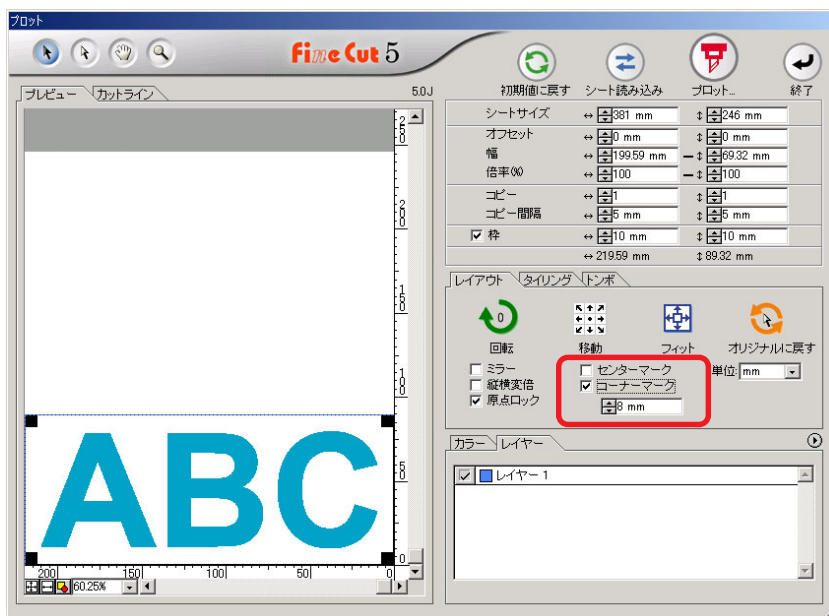
センターマークをつけてみましょう。

レイアウトメニューの「センターマーク」のチェックボックスにチェックを付け、マークのサイズを入力します。



コーナーマークをつけてみましょう。

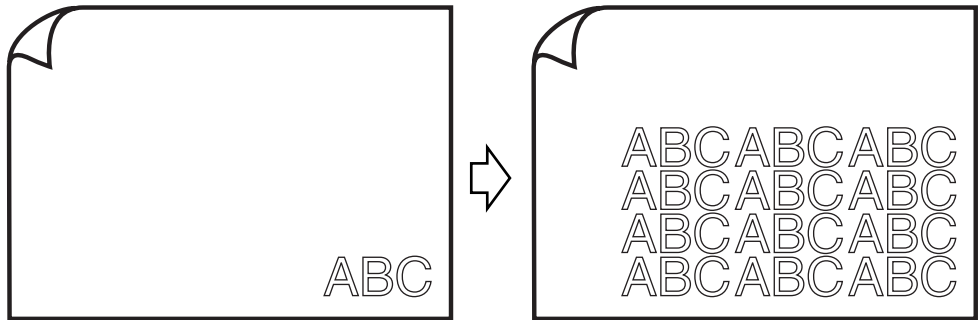
レイアウトメニューの「コーナーマーク」のチェックボックスにチェックを付け、マークのサイズを入力します。



1つのオブジェクトを複数カットする（コピー）

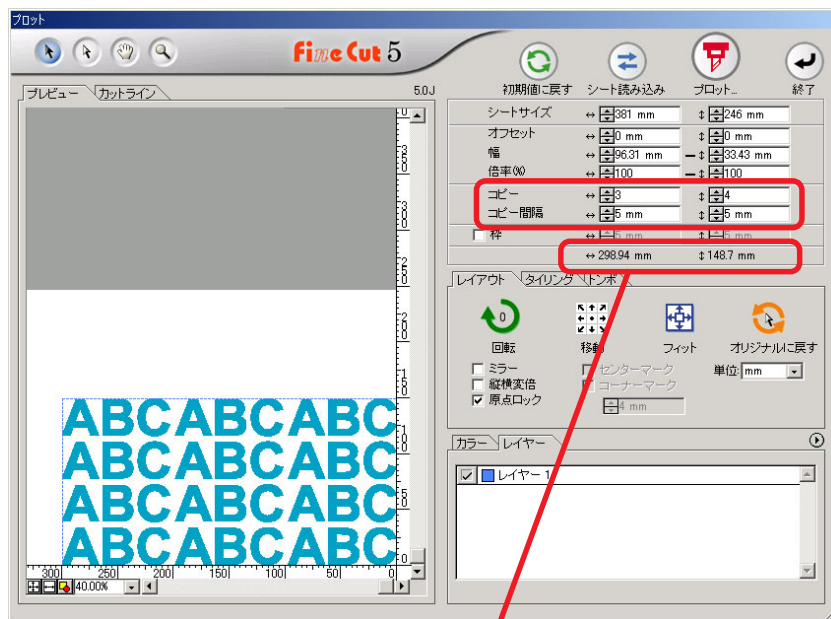
1つのオブジェクトを縦方向、および横方向に複数カットする場合は、コピー機能を使用します。

A3サイズのシートに、「ABC」を下記のようにカットしてみましょう。



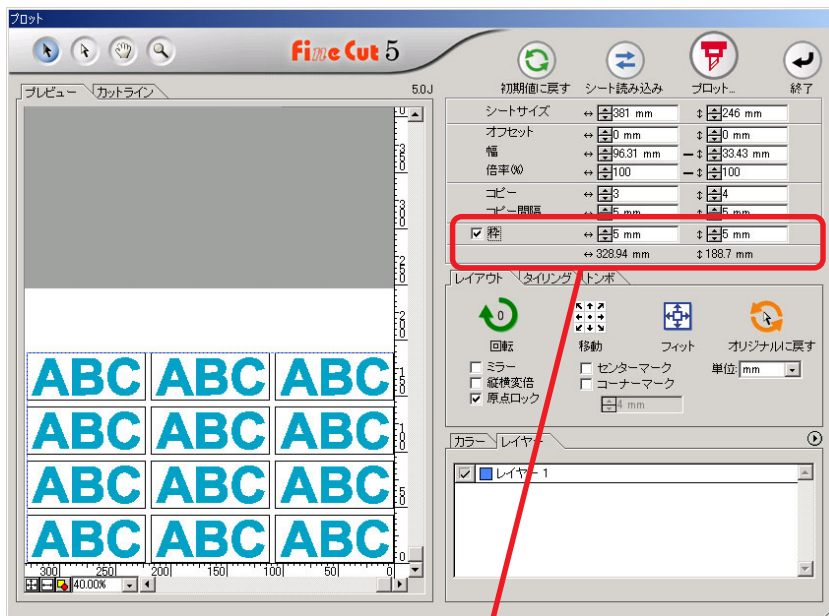
「コピー」の横方向に「3」、縦方向に「4」を入力します。

オブジェクト間の余白（横方向、縦方向）を5 mmに設定します。



全体長は、全てのオブジェクトの余白を含んだサイズを表示します。

オブジェクトから 5 mm 離れた位置に枠を付けます。



全体長は、枠のサイズを含めて表示します。

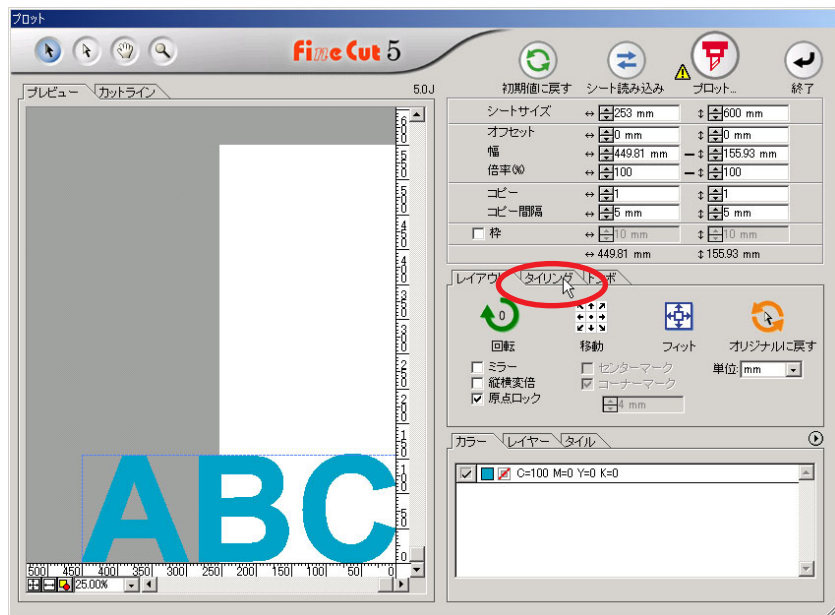


枠を設定すると、各オブジェクトごとに枠を作成します。コピーしたオブジェクトを1つの枠で囲むことはできません。

1つのオブジェクトを分割してカットする (タイリング)

1つのオブジェクトを分割してカットする場合は、タイリング機能を使用します。この機能を使うと、シート幅より大きい看板を作成できます。ここでは分割した各オブジェクトを、「タイル」と呼びます。オブジェクトを分割してみましょう。

1 「タイリング」タブを選択します。



2 分割方法を設定します。(⇒ 82 ページ)



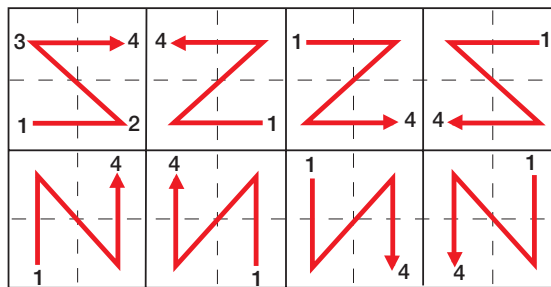
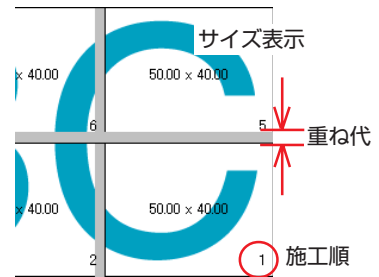
①全タイル： タイルサイズを入力します。全て同じサイズで分割します。

②詳細指定： カットエリアの分割線をドラッグして、自在に分割します。

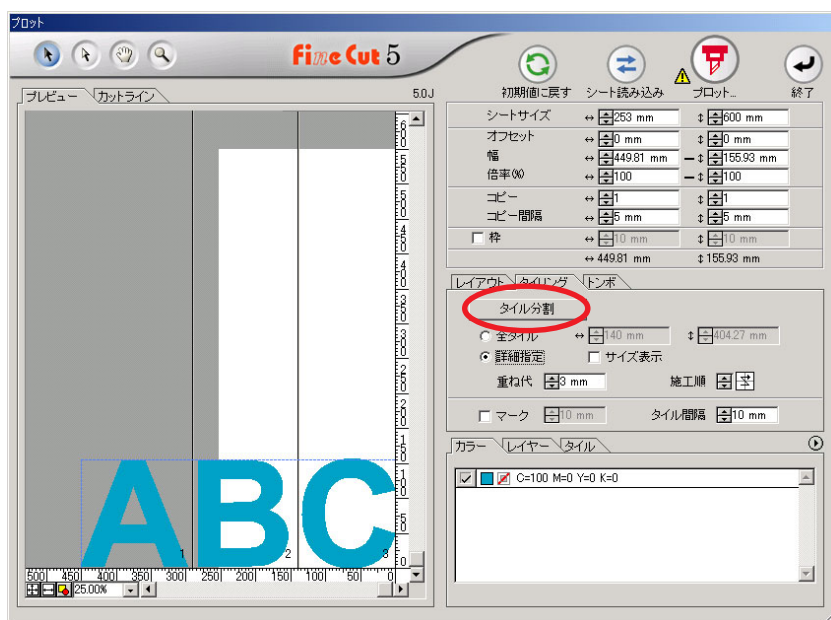
③重ね代： タイルの重ね代を設定します。

④サイズ表示： 分割した各タイルサイズを表示します。

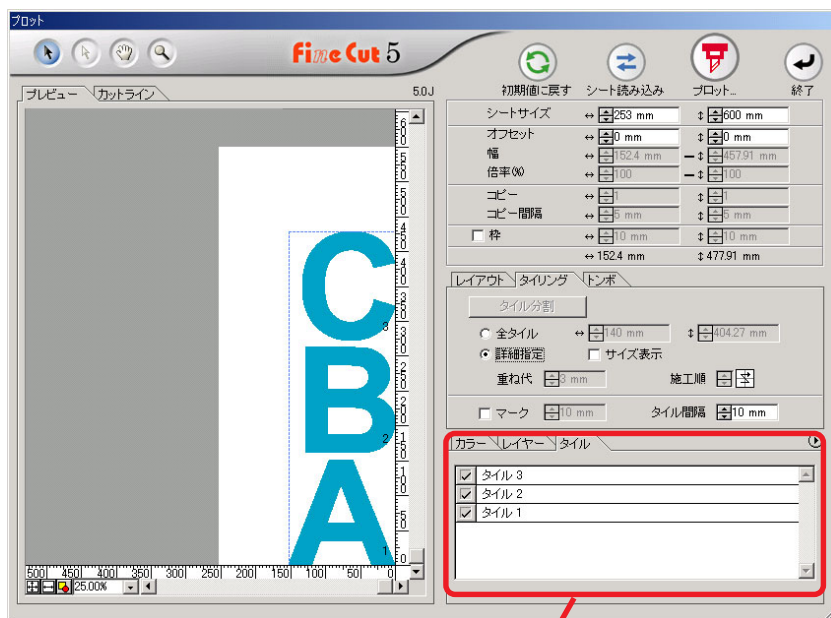
⑤施工順： カット順序を選択します。カットしたタイルを、看板などに張り合わせる順番です。各タイルの右下に、カット順序を表示します。この順番によって、タイル番号、重ね代の作成方向が決定します。次の 8 種類から選択できます。



3 タイル分割 ボタンをクリックします。

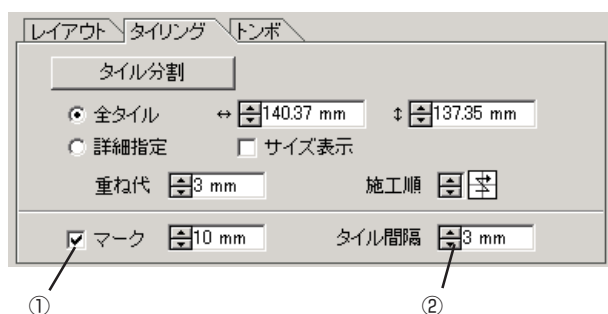


4 オブジェクトが分割して表示されます。

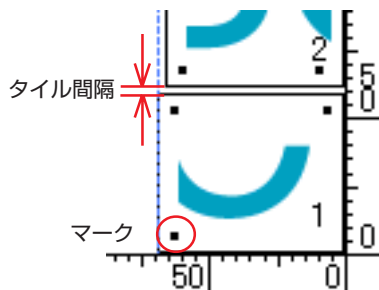


タイル・リストを表示します。

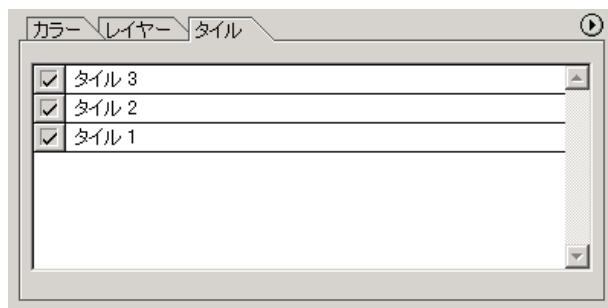
5 「マーク」と「タイル間隔」を設定します。



- ①マーク： 各タイルにマークをつけます。マークサイズを選択または入力します。カット後、マークを合わせると、分割前のオブジェクトの形を復元できます。
- ②タイル間隔： 連続してカットする場合、各タイルをカットする間隔を入力します。



6 タイルリストからカットするタイルを選択し、プロットします。



リストタブを「タイル」から「カラー」または「レイヤー」に変更すると、タイル分割をやり直すことができます。

影 / ふち取りをつける

オブジェクトに影やふち取りをつけてみましょう。

FineCut ではいろんな影やふち取りが簡単に作成できます。

- 1 オブジェクトを選択します。

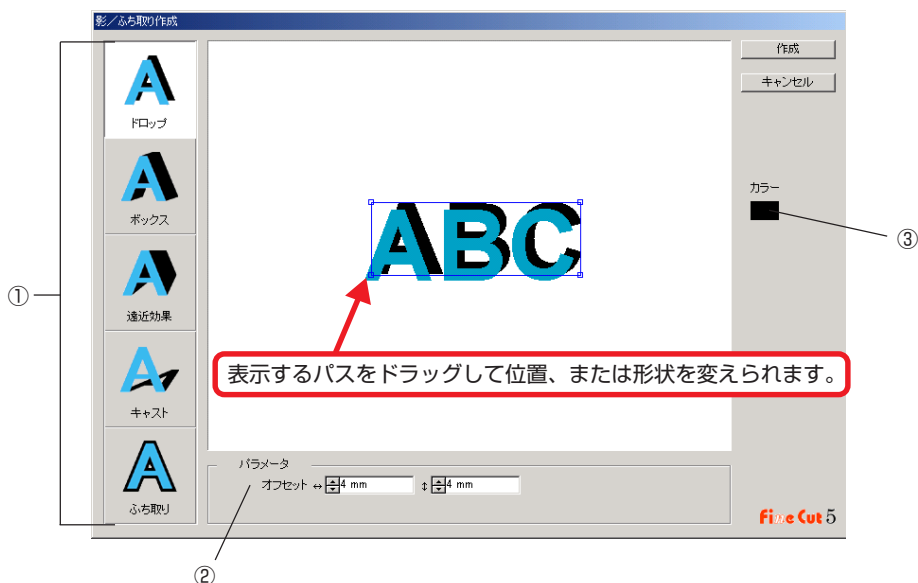


- 2 「FineCutメニュー」の[影/ふち取り作成]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[影/ふち取り作成]を選択します。



3 作成する影、またはふち取りを設定します。

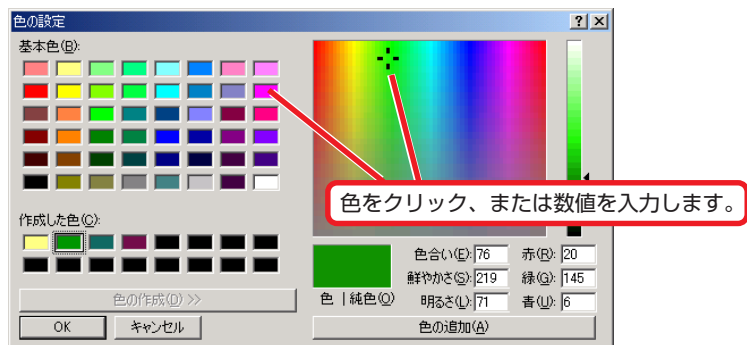


①形状： 影の形状（4種類）、または「ふち取り」を選択します。



②パラメータ： オブジェクトから影までの長さ（オフセット値）を設定します。「遠近効果」を選択した場合は、遠近感を%で設定します。「ふち取り」を選択した場合は、角の形状と比率を設定します。（フレーム作成を参考にしてください。⇒48ページ）

③カラー： 影の色を設定します。クリックすると、「色の設定」ダイアログを表示します。（Windows版とMachintosh版ではダイアログが異なります。以下のダイアログはWindows版の場合です。）



色を選択、または数値入力し、**OK**をクリックします。



注意

影またはふち取りのカラーは、RGB カラーで指定します。書類のカラーモードが CMYK の場合は、指定した RGB カラーで表示できないことがあります。その場合は、CMYK カラーで表現可能な最も近いカラーに変換されます。

4

作成 をクリックすると、影またはふち取りが作成されます。

(黒 / オフセット縦横 4mm / ドロップの影の場合)



影、またはふち取りのアンカーポイントが多い場合は、Illustrator の [オブジェクト] から [パス] を選択し、「単純化」を実行してください。(Illustrator9.0 以上)

作成した影、またはふち取りを消去する場合は、「FineCut メニュー」の「影 / ふち取り削除」ボタンをクリックします。



注意

作成した影、ふち取り線を Illustrator で編集すると、削除できない場合があります。

シール周りの不要な部分を剥がしやすくする

カットしたシールの不要な部分を剥がしやすくするために、オブジェクトまわりにカット線（切り込み）をいれておくと便利です。ここでは、オブジェクト外にイれるカット線を、「カス取り線」と呼びます。

カス取り線作成では、カット線とフレーム（枠）を作成します。



「かす取り線ダイアログ」で表示する単位は、Illustratorの設定が反映されます。単位を変更する時は、Illustratorの[編集]または[ファイル]-[環境設定]の「単位」で設定してください。



厚手のシートでカス取り線をカットすると、成果物を傷つける可能性があります。厚手のシートをカットする場合は、カス取り線を設定しないでください。

- 1 オブジェクトを選択します。



- 2 「FineCut メニュー」の[カス取り線作成]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[カス取り線作成]を選択します。

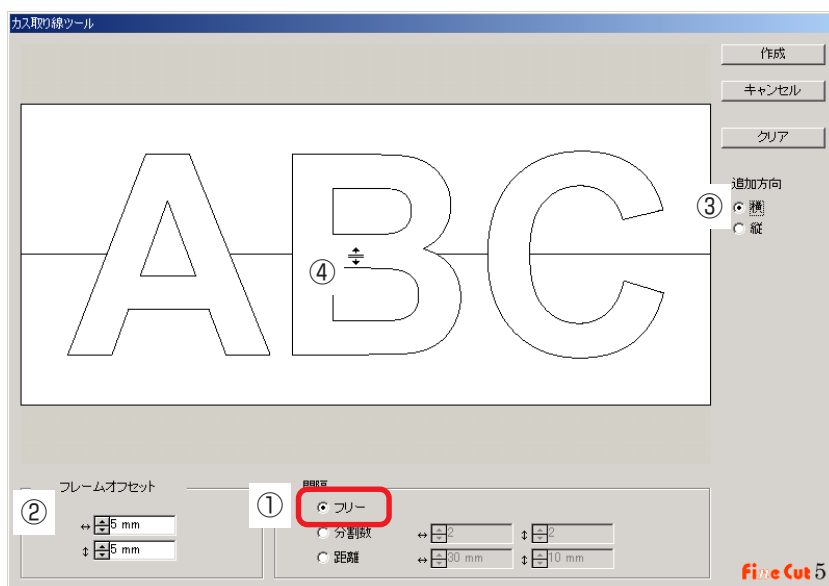


- 3 カス取り線を設定します。

設定方法は3通りあります。

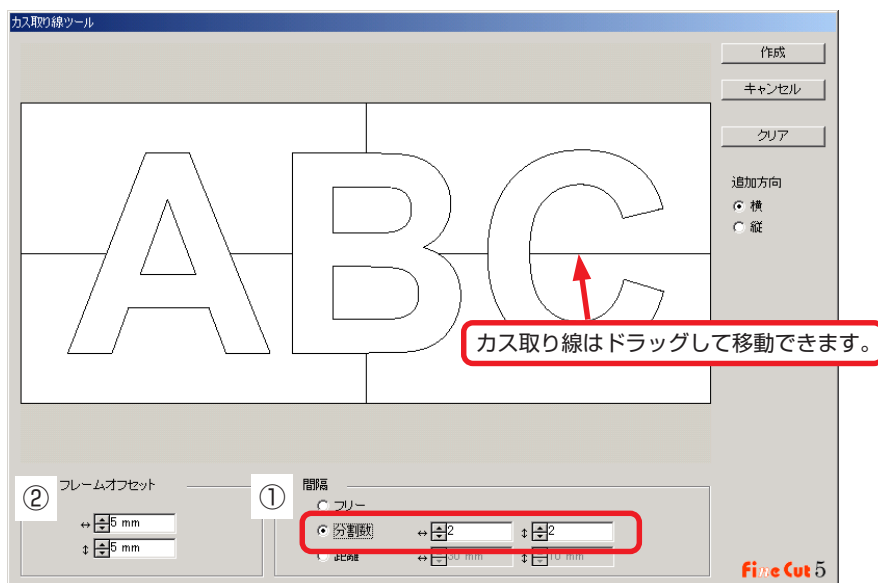
1. フリー設定

- ① 「間隔」から「フリー」を選択します。
- ② 「フレームオフセット」にオブジェクトからフレーム（枠）までの距離を設定します。
（下図では、フレームまでの縦方向距離を5 mmに設定しています。）
- ③ 「追加方向」でカス取り線を作成する方向（横または縦）を選択します。
- ④ カス取り線を作成する位置でクリックします。



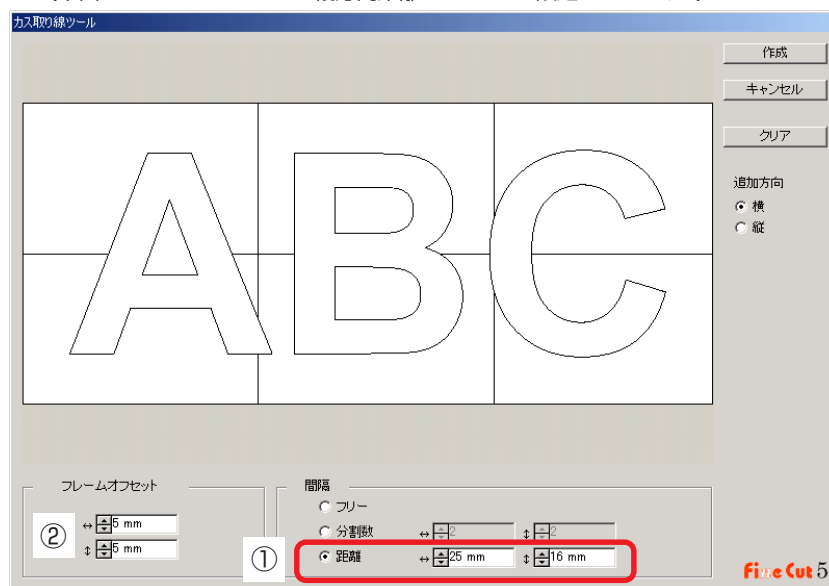
2. 分割数設定

- ① 「間隔」から「分割数」を選択します。
横、縦それぞれに分割する数を選択、または入力します。
- ② 「フレームオフセット」にオブジェクトからフレームまでの距離を設定します。
（下図では、フレームまでの縦方向距離を5 mmに設定しています。）



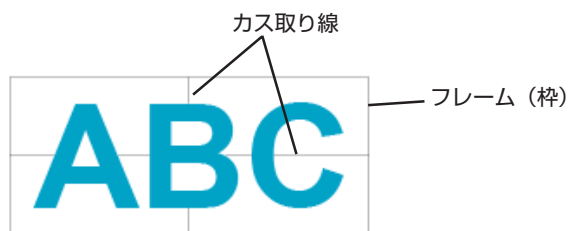
3. 距離設定

- ① 「間隔」 から「距離」 を選択します。
横、縦それぞれにオブジェクト間の長さを選択、または入力します。
- ② 「フレームオフセット」 にオブジェクトからフレームまでの距離を設定します。
(下図では、フレームまでの縦方向距離を 5 mm に設定しています。)



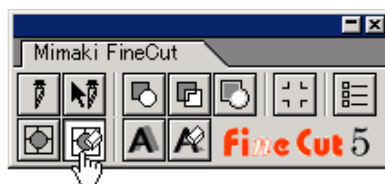
キャンセルをクリックすると、カス取り線を作成せずに Illustrator 画面に戻ります。
クリア をクリックすると、フレーム以外の全てのカス取り線を消去します。
カス取り線を 1本ずつ消去する場合は、線をクリックして画面の端までドラッグします。

- 4 設定終了後、作成 をクリックします。



(分割数各方向 2/ フレームオフセット各方向 5m の場合)

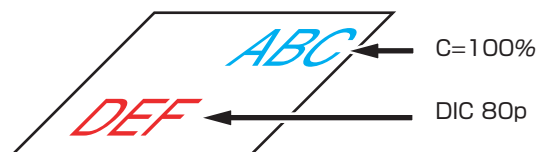
作成したカス取り線を消去する場合は、「FineCutメニュー」の「カス取り線削除」ボタンをクリックします。



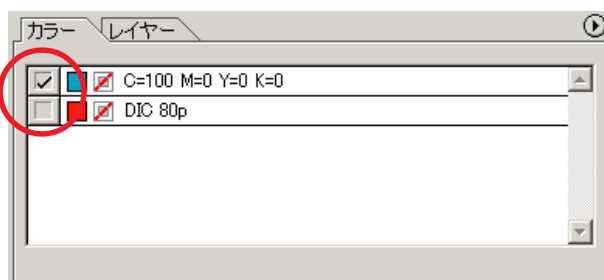
色別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数の色のオブジェクトがある場合、指定した色のオブジェクトのみをカットできます。

青い色 (C=100%) の「ABC」のみをカットしてみましょう。

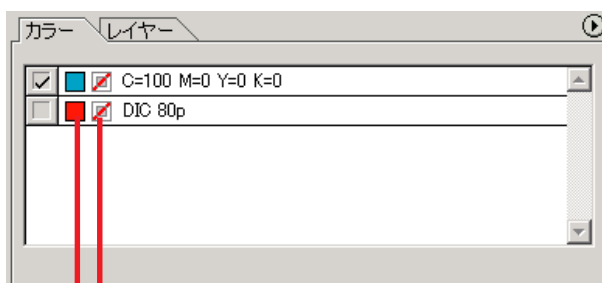


プロットダイアログのカラーリストは、オブジェクトの色構成を表示します。「DEF」のカラー (DIC 80p) のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。カットエリアから「DEF」のオブジェクトが消えます。



カラーリストについて



カラーリストには、オブジェクトに使用している全ての色 (DIC 等の特色を含む) を表示します。また、オブジェクトの塗りと線の色を表示します。右上のボタンをクリックすると、さらに出力条件などを指定できます。



線の色：クリックすると、線の色を表示します。

塗りの色：クリックすると、塗りの色を表示します。

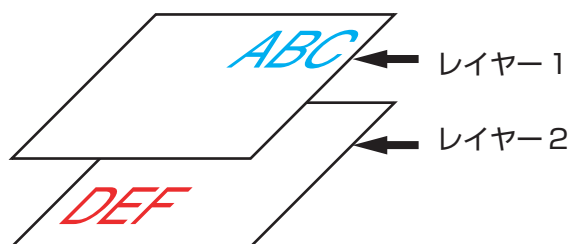
レイアウト位置が変わってしまう時は（原点ロックについて）

	原点ロックの設定		カット結果
作成したレイアウト位置を保持してカットする場合は、「原点ロック」のチェックボックスをチェックします。	<input type="checkbox"/> ミラー <input type="checkbox"/> 縦横変倍 <input checked="" type="checkbox"/> 原点ロック	⇒	
チェックを付けない場合は、原点を基準にシートの右下に（Mimaki CFシリーズは左下に）カットします。	<input type="checkbox"/> ミラー <input type="checkbox"/> 縦横変倍 <input type="checkbox"/> 原点ロック	⇒	

レイヤー別にオブジェクトをカットする

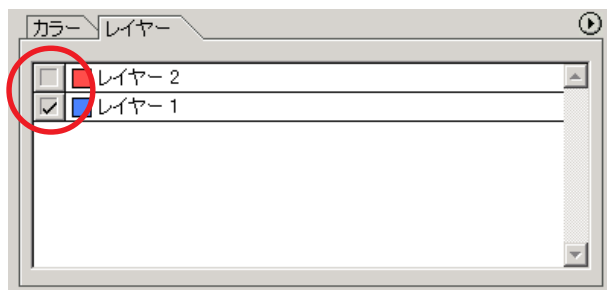
Illustrator 上で複数のレイヤーにオブジェクトがある場合、指定したレイヤーのオブジェクトのみをカットできます。

レイヤー 1 の「ABC」のみをカットしてみましょう。



プロットダイアログをレイヤーリストに変更します。

レイヤー 2 のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。



カットエリアからレイヤー 2 の「DEF」が消えます。

作成した「ABC」の位置を保持してカットする場合は、オプションの「原点ロック」のチェックボックスにチェックをつけます。(⇒ 36 ページ)

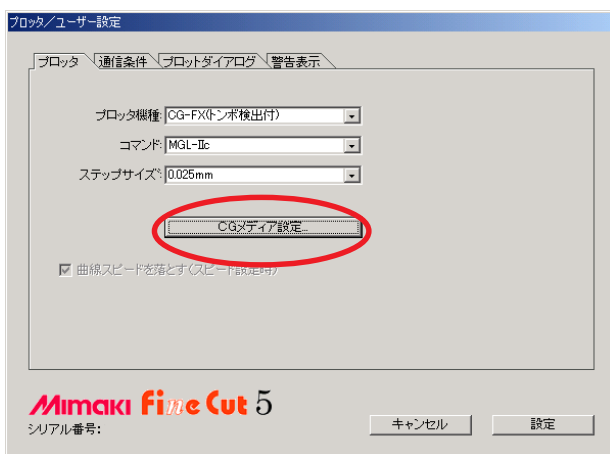
出力条件を設定する



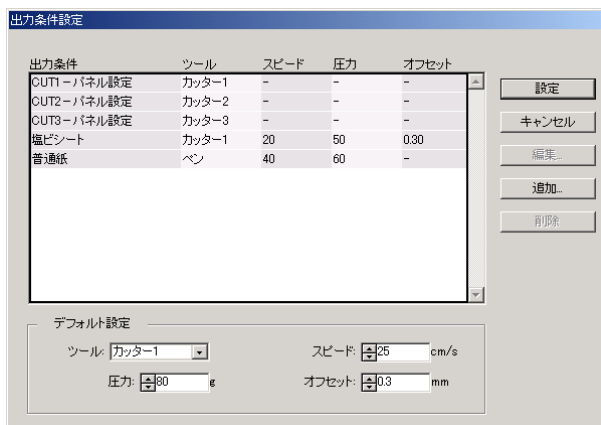
コマンドが「MGL-IIc」の場合のみ、本機能を使用できます。

FineCutでは、プロッタの出力条件を50通りまで登録できます。
プロット時に出力条件をメディアによって切り替えることができます。

- 1 [プロッタ/ユーザ設定] で、 **CG(CF)メディア設定** ボタンをクリックします。
または「プロッタ出力」ダイアログで **編集** をクリックします。(⇒85ページ)



- 2 「出力条件設定」ダイアログを表示します。



- ① **出力条件の内容を変更する**
変更するツールを選択して **編集** をクリック、またはダブルクリックします。
- ② **メディアを追加する**
追加 をクリックします。

- 3 プロッタにセットするパラメータをチェックして、設定情報を入力します。

メディア/ツール作成

メディア名: CUT3

ツール: カッター3

スピード: 30 cm/s

圧力: 50 g

オフセット: mm

キャンセル OK

チェックしないパラメータは、プロッタ側の設定でプロットします。

- 4 **OK** をクリックすると、「出力条件設定」ダイアログのリストが更新されます。

出力条件設定

出力条件	ツール	スピード	圧力	オフセット
CUT1-パネル設定	カッター1	-	-	-
CUT2-パネル設定	カッター2	-	-	-
CUT3	カッター3	30	50	-
塩ビシート	カッター1	20	50	0.30
普通紙	ペン	40	60	-
メディア1	カッター2	30	80	0.30

デフォルト設定

ツール: カッター1 スピード: 25 cm/s

圧力: 80 g オフセット: 0.3 mm

設定 キャンセル 編集 追加 削除

- 5 **設定** をクリックします。



注意

設定した値が、ご使用のプロッタの設定可能な制限値を超えている場合、プロッタの制限値でプロットします。設定可能な制限値については、ご使用のプロッタの取扱説明書を参照してください。

6 カットするデータをプロットします。

「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。
または Illustrator の[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロット]を選択します。

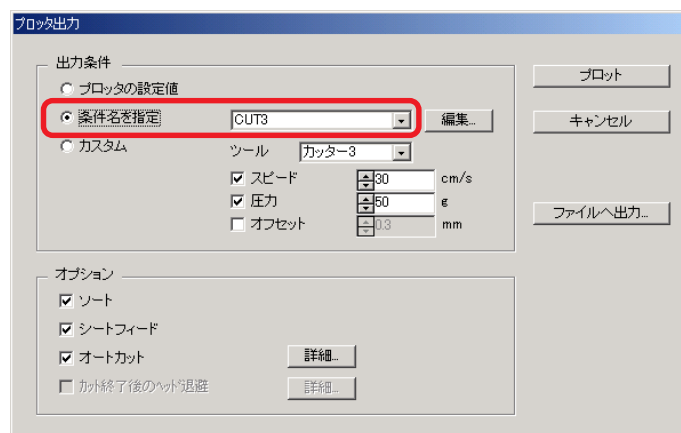


(カラー別、レイヤー別に出力条件を設定する場合⇒42 ページ)

7 プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。

「条件名を指定」にチェックをつけると、「出力条件設定」ダイアログで設定した条件を選択できます。(⇒37 ページ)



編集 をクリックすると、「出力条件設定」ダイアログに移行し、出力条件の編集が行えます。(⇒38 ページ)



「カスタム」を選択して条件を指定すると、指定した条件でプロットできます。「出力条件設定」に条件を登録する必要はありません。

8 **プロット** をクリックします。



注意

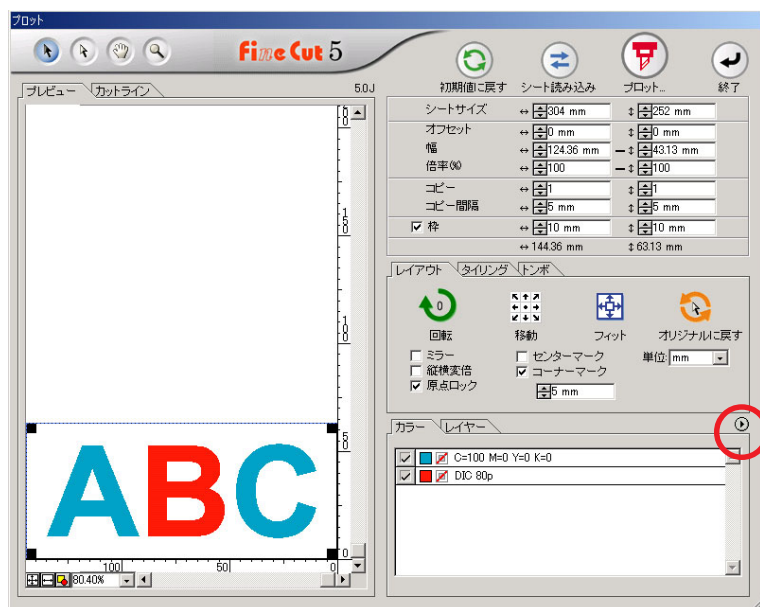
「条件名を指定」または「カスタム」の設定でプロットすると、プロッタ側の「スピード/圧力/オフセット値」が変更されます。プロッタ側のパネルで設定値を元に戻す場合は、プロッタをローカルモードにして **TOOL** ボタンを押してください。

<カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する>

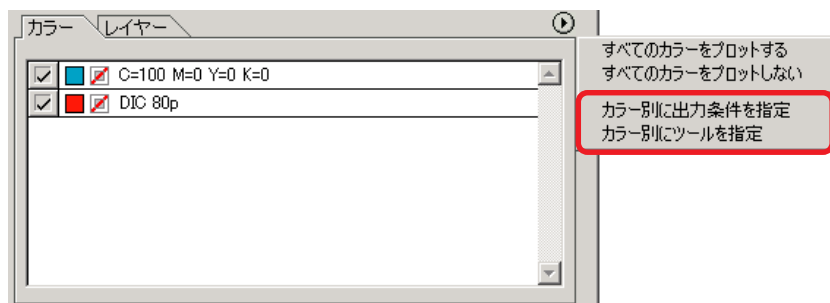
カラーリスト、レイヤーリストでそれぞれに出力条件を設定することができます。小さい文字や、オブジェクトの細かい部分は、色またはレイヤーを別に作成して、出力条件を変えてカットすると（カットスピードを遅くするなど）、きれいにカットできます。

赤い色の「B」の出力条件を変えてカットしてみましょう。

- 1 カラーリスト（レイヤーリスト）の右上ボタンをクリックします。

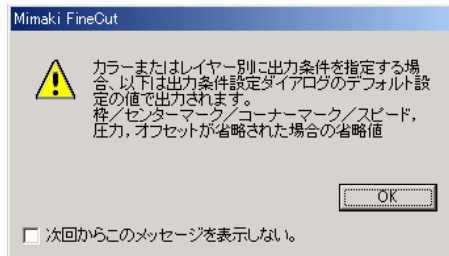


- 2 「カラー別に出力条件を指定」または「カラー別にツールを指定」を選択します。



3

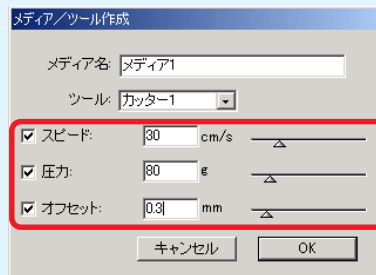
以下のダイアログが表示されます。



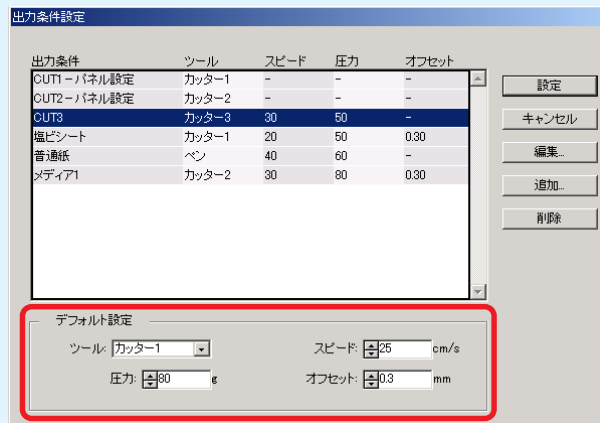
OK をクリックします。



カラー/レイヤー別で出力条件を設定する際は、プロッタ側の設定値を使用できません。必ず、出力条件（スピード/圧力/オフセット）をすべて設定してください。




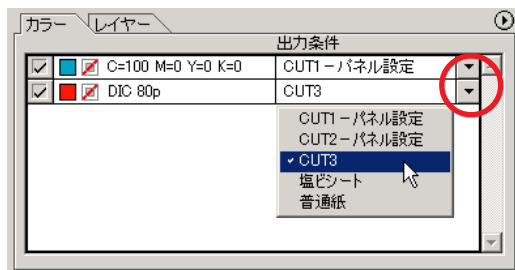
チェックボックスが指定されていない場合は、デフォルト設定の値でプロットします。



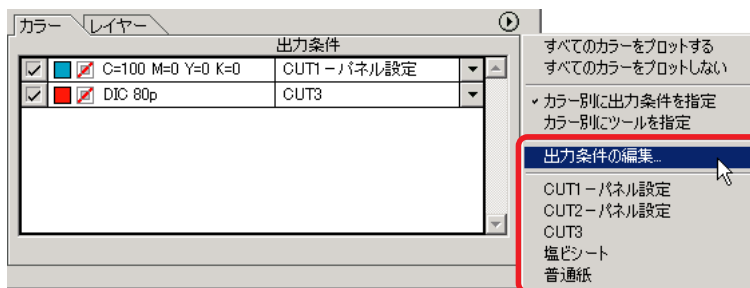
また、枠/センターマーク/コーナーマークを指定した場合も、上記のデフォルト設定の値でプロットします。

4 設定してある出力条件が右側に表示されます。

 をクリックして、「B」のカラーリストの出力条件を、前述で追加した出力条件「CUT3」(⇒39 ページ) に変えてみましょう。




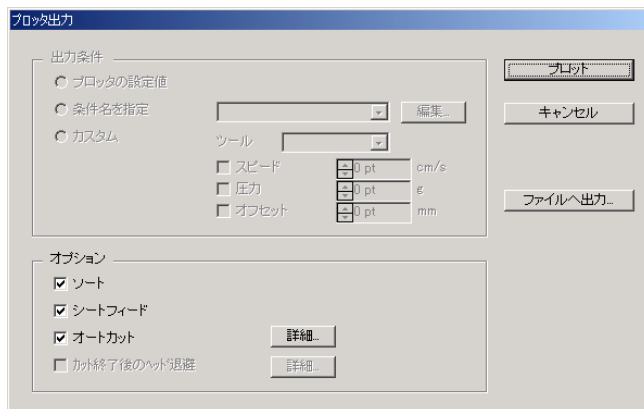
5 出力条件を変更する場合は、右上のボタンをクリックして、「出力条件の編集」を選択します。



「カラー別に出力条件を指定」または「カラー別にツールを指定」を選択すると、設定してある条件が表示されます。

ここで条件を選択すると、全てのリストが選択した条件に設定されます。

6  プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログが表示されます。




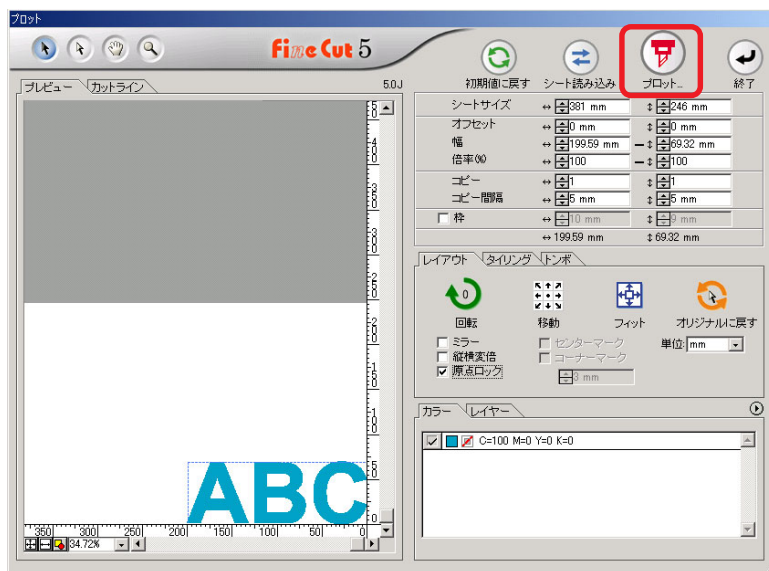
7  ボタンをクリックします。

カット終了後のヘッド位置 / 原点を設定する

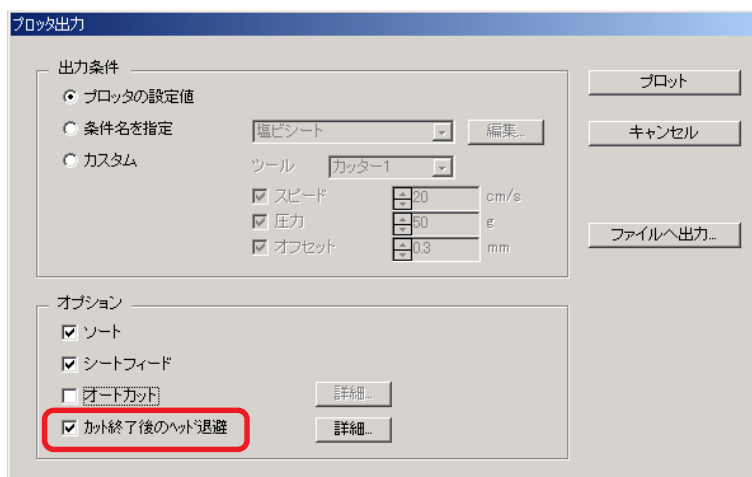
データを出力した後のプロッタのヘッド位置を設定できます。

カット終了後に原点を自動更新するように設定しておく、同じシートを使う場合に前回カットした位置に重ねてカットするミスを防ぐことができます。

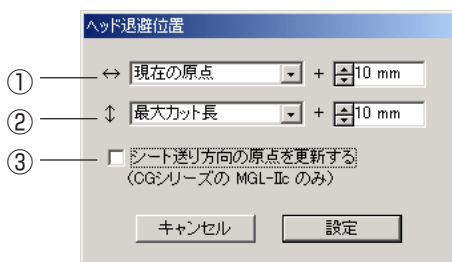
- 1  プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



- 2 「カット終了後のヘッド退避」チェックボックスにチェックをつけます。



- 3 ヘッド退避位置の変更や退避位置に原点を設定する時は、**詳細** をクリックして「ヘッド退避位置」ダイアログを表示します。
(デフォルトは、データの「最大カット長+1cm/ 原点更新無し」の設定です。)



- ① 幅方向のヘッド退避位置を設定します。

基準の位置を「現在の原点」、「最大カット幅」の2つから選択できます。
例えば、上図は「現在の原点」から幅方向に+1 cmの位置にヘッドを退避する設定です。

- ② 長さ方向のヘッド退避位置を設定します。

基準の位置を「現在の原点」、「最大カット長」の2つから選択できます。
例えば、上図は「最大カット長」から長さ方向に+1 cmの位置にヘッドを退避する設定です。

- ③ ヘッド退避位置を原点に設定します。

(Mimaki CGシリーズのコマンドがMGL-IIcの場合のみ使用可能)

ここにチェックをしておくと、連続出力時に便利です。



注意

「シート送り方向の原点を更新する」にチェックをしている時は、プロッタ側で実行する「マイスウギリ」や「ブンカツカット」が正常に行われません。「マイスウギリ」「ブンカツカット」使用時はチェックを外してください。

設定 をクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログ (手順2) に戻ります。

- 4 **プロット** ボタンをクリックし、プロットを実行します。
データの出力後、設定した位置にヘッドが退避します。

シールをつくる

プリンタなどでプリントした図柄の輪郭をカッティングして、シール/ステッカーを作ってみましょう。

FineCutには、オブジェクトにカットラインを生成する「フレーム抽出」機能や、マークセンサー付きカッティングプロッタ「Mimaki CG-EX シリーズ」、「Mimaki CG-FX シリーズ」で軸補正、距離補正が一度に行える「トンボ認識」機能を搭載しています。

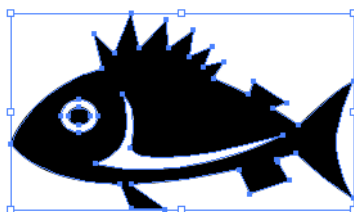


必ずプロッタの通信条件を、接続しているプロッタと同じ値に設定してください。設定が異なると、正常にオブジェクトをカットできません。(⇒75ページ)

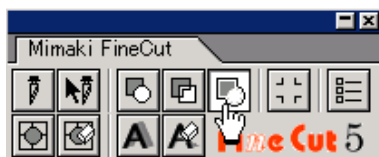
1. フレームをつける

指定したオフセットでカットラインを自動作成します。

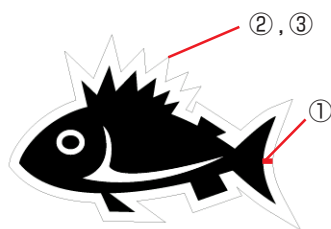
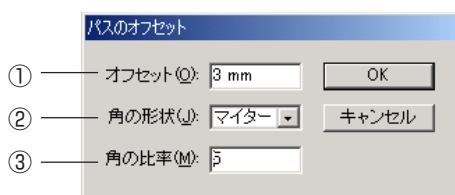
- 1 フレームをつけるオブジェクトを選択します。



- 2 「FineCut メニュー」の[フレーム抽出]ボタンをクリックします。またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[フレーム抽出...]を選択します。



3 フレームのパスの設定を行います。

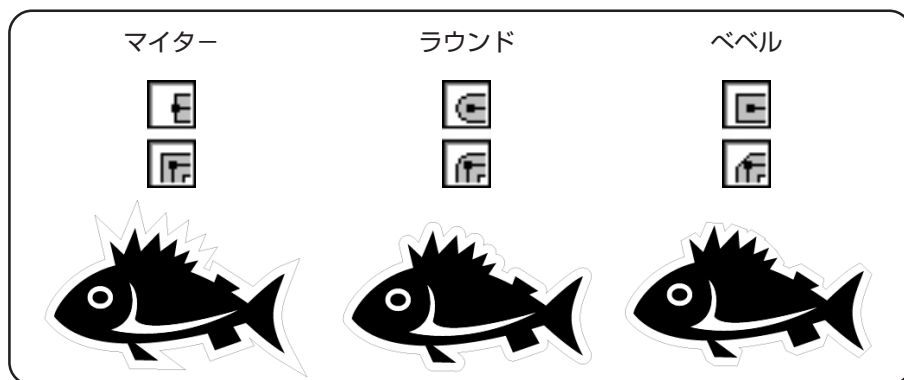


①オフセット： オブジェクトからフレームまでの距離を設定します。オフセット値にマイナスの値を入力すると、裁ち落としができます。

②角の形状： フレームの角の形状を設定します。



フレームの形状が不自然になる場合は、角の形状を変更すると改善することがあります。一般的に角が鋭角な程、またオフセットの値が大きい程、精度が落ちます。

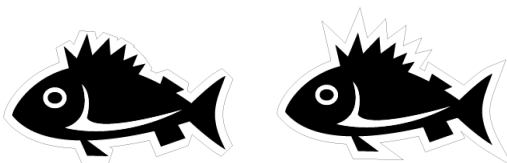


③角の比率： 角を形成する2本の線端が交わる位置までの比率を設定します。(角の形状がマイターの時のみ有効)

例

1 mm

10 mm

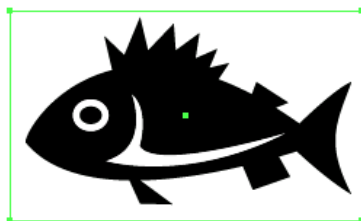


値が大きい程、鋭角になります。

OK をクリックすると、フレームを抽出し、「FC フレームレイヤー」にパスが作成されます。

2. トンボを作成する

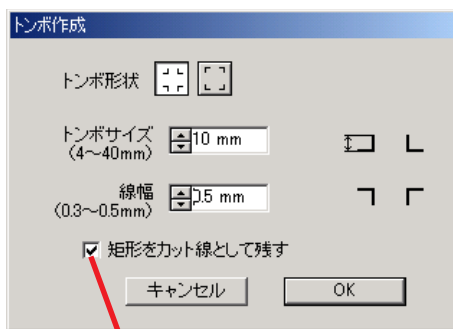
- 1 トンボを作成する位置にあわせて、長方形ツールでオブジェクトを囲みます。



- 2 「FineCut メニュー」の[トンボ作成]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[トンボ作成]を選択します。



- 3 トンボの形状とサイズ、線幅を設定します。

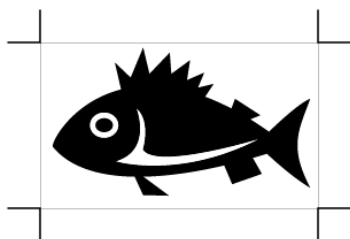


ここにチェックを入れると、矩形（手順1で作成した長方形）をカットします。



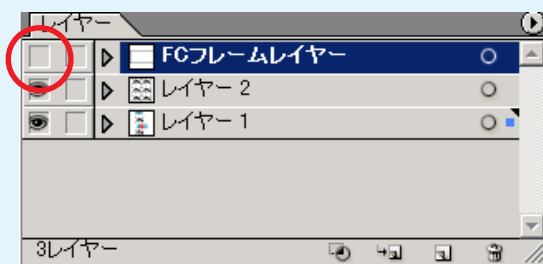
連続してトンボをカットする場合（⇒54ページ）は、トンボサイズを8 mm以上に設定してください。

- 4 トンボが作成されます。このデータをプリンタで出力します。



注意

「フレーム抽出」(⇒47ページ) や「矩形をカット線として残す」(⇒49ページ) にチェックをつけて作成したデータをそのままプリントすると、カット線もプリントしてしまいます。「FCフレームレイヤー」のチェックを外してプリントしてください。

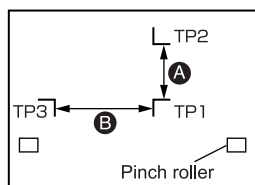


3-1. トンボを認識し、カットする(CG-EXシリーズをご使用の場合)

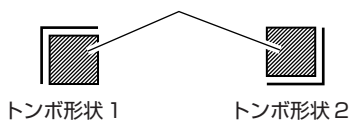
1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-EXシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。

トンボ検出方法（セミオート方法）

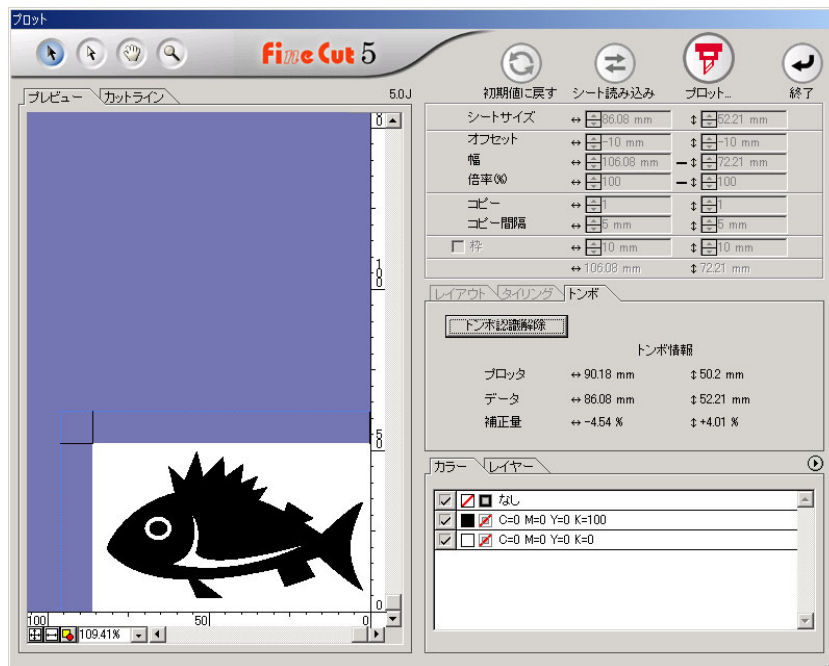
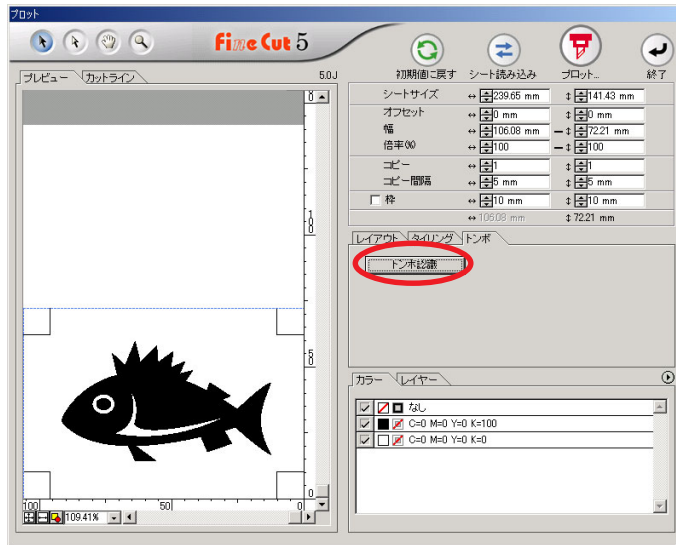


カッター先端の移動エリア




1. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
2. キーまたは キーを押し、シート検出を行います。
3. ジョグキーでカッターの先端を左図のエリア内に移動します。
4. キーを押します。
トンボ検出が始まります。
5. トンボ検出後、TP1-TP3間の長さ(A)を表示します。 キーを押します。
Fine Cut は自動でサイズを補正するので、ジョグキーで実サイズを登録する必要はありません。
6. TP1-TP2間の長さ(B)を表示します。
 キーを押します。
7. 原点が設定されます。

- 2 プロットダイアログで **トンボ認識** ボタンをクリックすると、トンボを認識します。



トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

- 3  プロットボタンをクリックすると、「プロッタ出力」ダイアログを表示します。



- 4 プロット ボタンをクリックします。

3-2. トンボを認識し、カットする(CG-FXシリーズをご使用の場合)

FineCutを使用すると、CG-FXにセットしてある出力結果のトンボを、高速で検出できます。

ロールシートに複数ある同一データを連続カットする方法と、ハザイシートを交換して同一データを連続カットしてみましょう。

<ロールシートの連続カット>



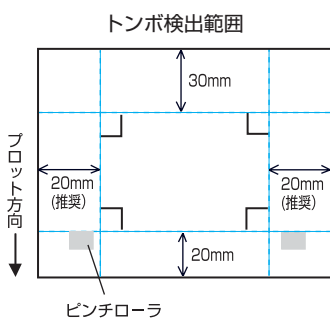
- ・ Illustrator 上のトンボデータは、1 セット（4 カ所）のみにしてください。同一データの印刷は、Illustratorに同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア(RIP)のコピー機能を使用してください。
- ・ トンボの形状は統一してください。(⇒49ページ) トンボの形状が混合していると、正確にトンボを検出できません。
- ・ トンボの長さは8mm以上に作成してください。(⇒49ページ)
- ・ 出力結果は、XY方向（縦横）をそろえて作成してください。

1

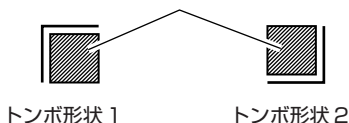
出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-FXシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。

トンボ検出方法（セミオート方法）



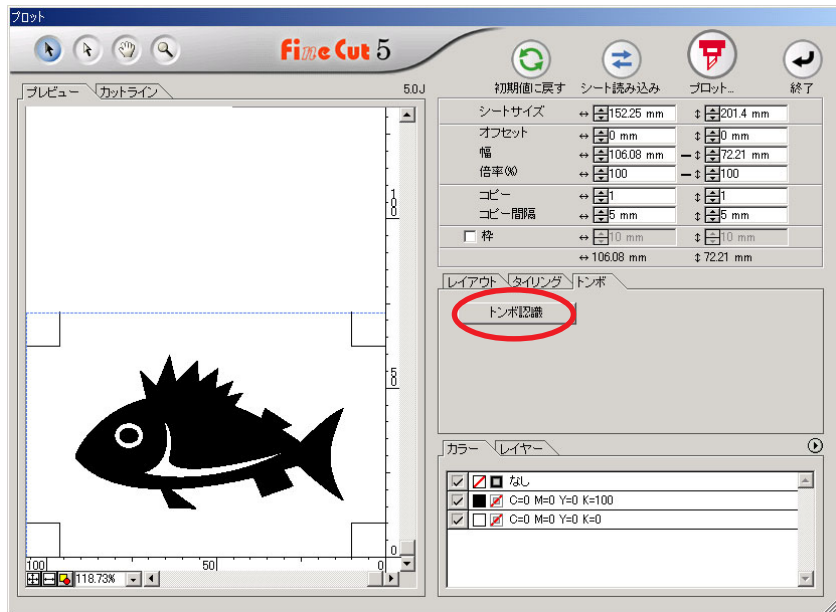
スポットLEDの移動エリア



1. プロッタで、「トンボケンシュツ」機能を有効にします。
サイズ、形状など検出するトンボの設定を行います。
「トンボ検出個数」は「1テン」を選択します。
2. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
3. ジョグキーを押し、シート検出を行います。
4. ジョグキーでスポットLEDを左図のエリア内に移動します。
5. **ENTER HOLD** キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。

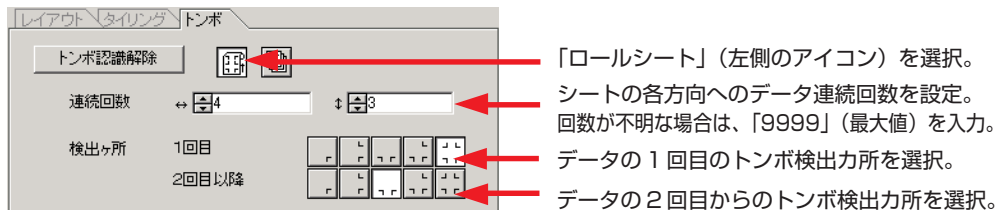
2

プロットダイアログの **トンボ認識** ボタンをクリックします。



3

連続して認識するトンボについて設定します。



大きいデータの場合、トンボ検出力所を多くすると、より精密にカットできます。
小さいデータの場合、2回目以降のトンボ検出力所を少なくすると、トンボ検出時間を短縮できます。

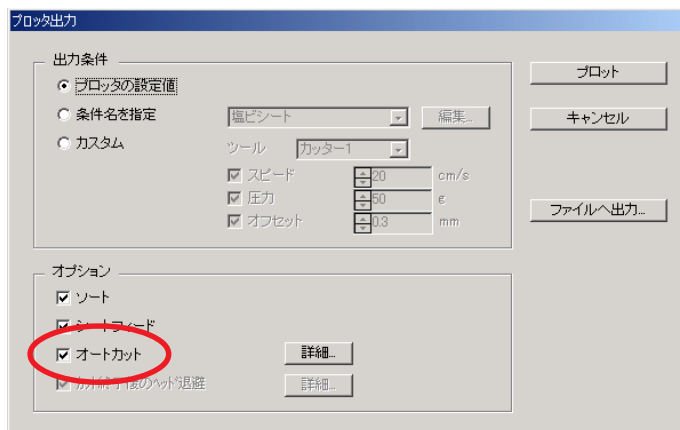
トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

4



プロットボタンをクリックします。

プロッタ出力ダイアログを表示します。(⇒ 85 ページ)



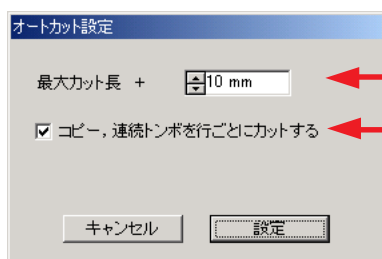
「オートカット」にチェックを入れると、カッティングを終了ごとに自動的にシートカットします。



注意

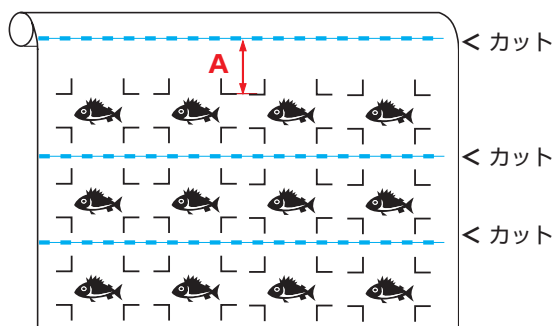
オートカットを行う場合は、必ずチェックを入れてください。CG-FX 側で「オートカット」設定をオンにしても、ここにチェックがないと、カットを行いません。また、CG-FX 側で「オートカット」設定をオフにしても、ここにチェックが入れると、オートカットを行います。

詳細 をクリックし、設定を行います。



最後の行からカットする位置までの長さを設定。(下図 A)

データを行ごとにカットするか選択。



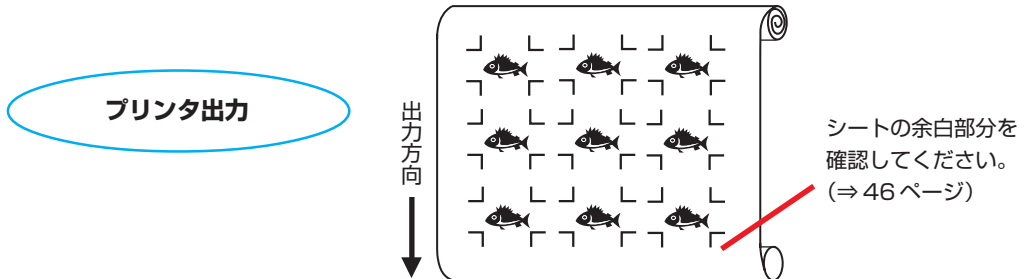
設定 をクリックします。

5

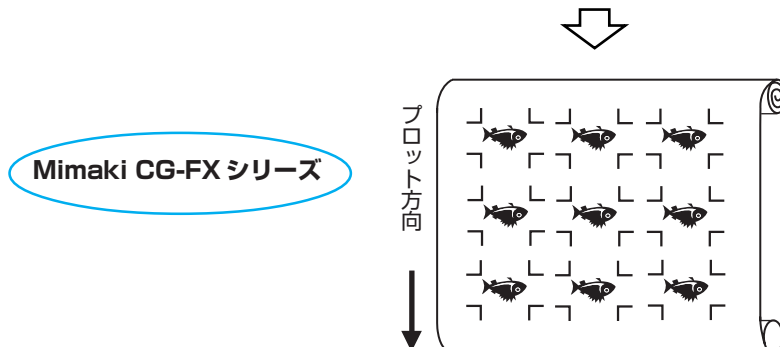
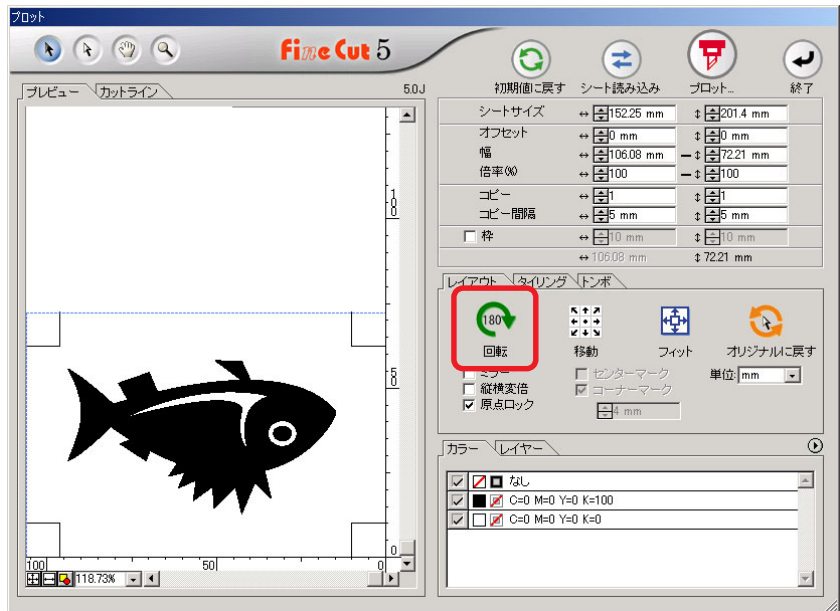
「プロッタ出力」ダイアログの **プロット** をクリックし、プロットを開始します。

● 巻き取り機能付きプリンタ（Mimaki JV シリーズなど）でプリントしたものを、紙管に巻いてある場合

FineCutで180°回転すると、そのままCG-FXにセットして連続カットできます。
（ロールを巻き戻す必要はありません。）

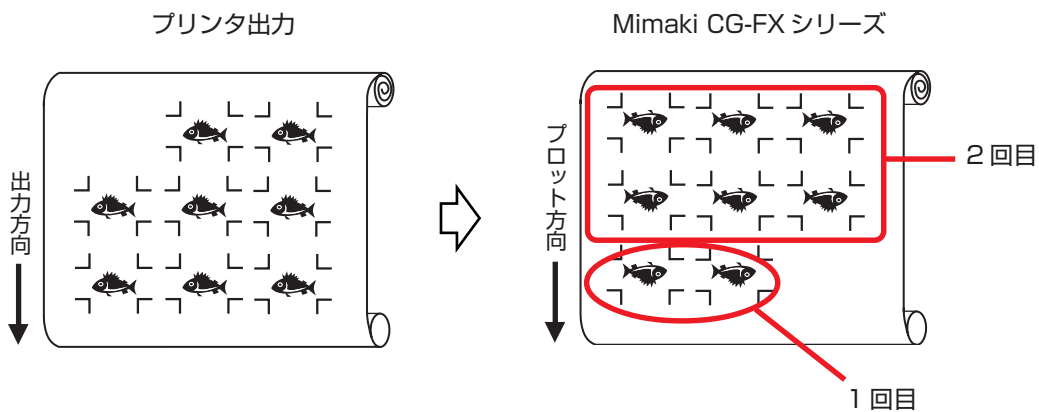


FineCutでトンボ認識を行う前に、 回転ボタンを「180°」に設定します。



● **プリントした連続データが、行の途中までの場合**

データを2回に分けてカットすると、全てのデータがカットできます。

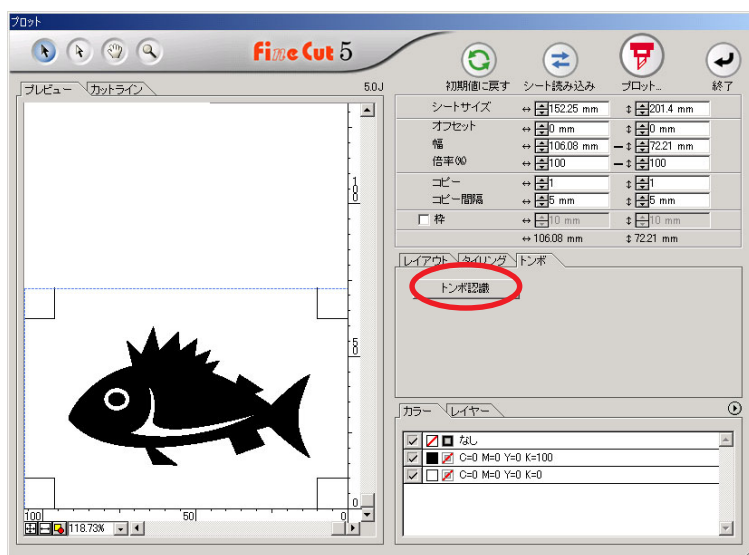


<ハザイシートの連続カット>

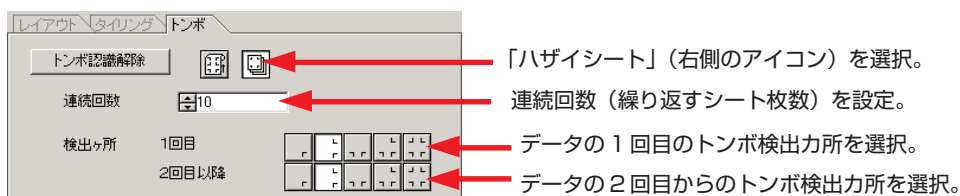


- ・トンボデータは、1セット（4カ所）のみとしてください。シート内にトンボが複数セットある場合は、連続してカットができません。
- ・出力結果のハザイシートサイズ、印刷位置は同じにしてください。

- 1 出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。
(⇒ 54 ページ)
トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-FX シリーズ」の取扱説明書をご参照ください。
- 2 プロットダイアログの **トンボ認識** ボタンをクリックします。



- 3 連続して認識するトンボについて設定します。



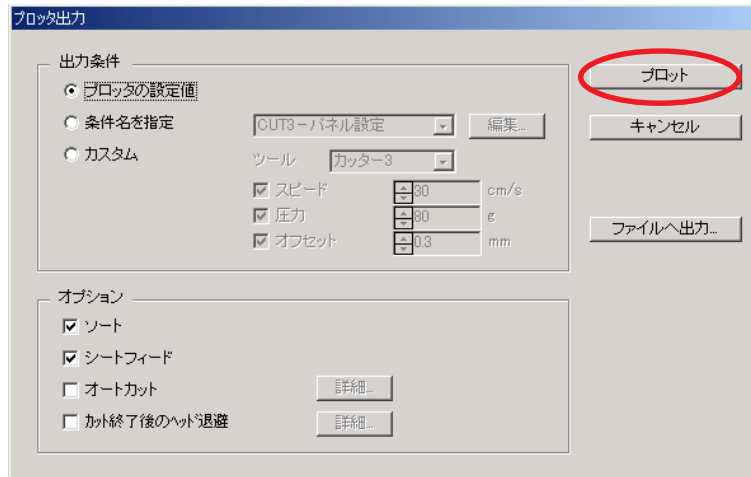
トンボ認識を中止する時は、**トンボ認識解除** ボタンをクリックします。

4



プロットボタンをクリックします。

「プロッタ出力」ダイアログを表示します。(⇒ 85 ページ)

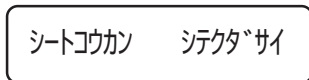


5

プロット をクリックし、プロットを開始します。

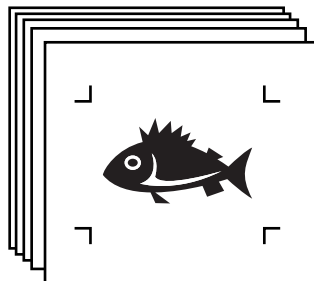
6

1 枚目をカットしたら、「CG-FX シリーズ」プロッタのパネルに以下のメッセージが表示されます。



7

次のシートをセットすると、自動的にトンボを検出し、カットを行います。

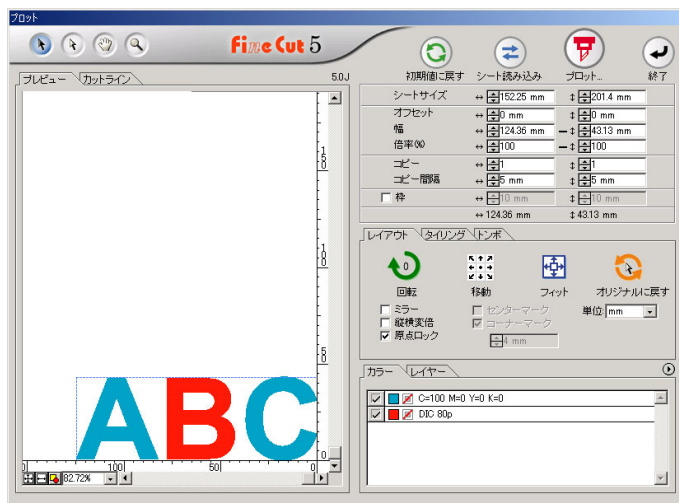


シートを有効に使う

オブジェクトを移動して、シートの無駄を省きましょう。

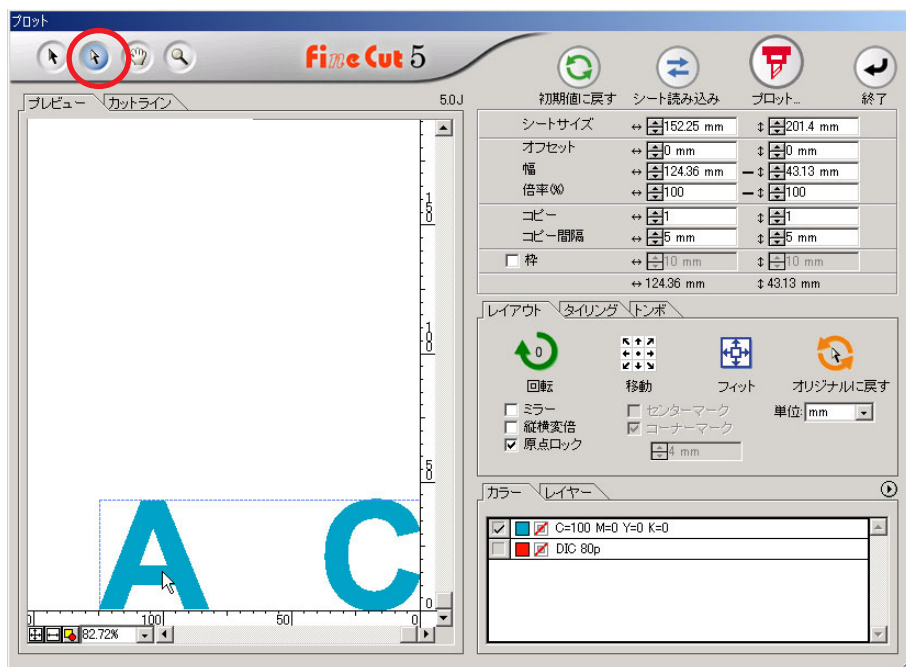
例えば色の違うABCをカラー別にカットする場合、AとCをカットすると、色の異なるBの部分が空白になってしまいます。

空白の箇所にオブジェクトを移動してカットしてみましょう。

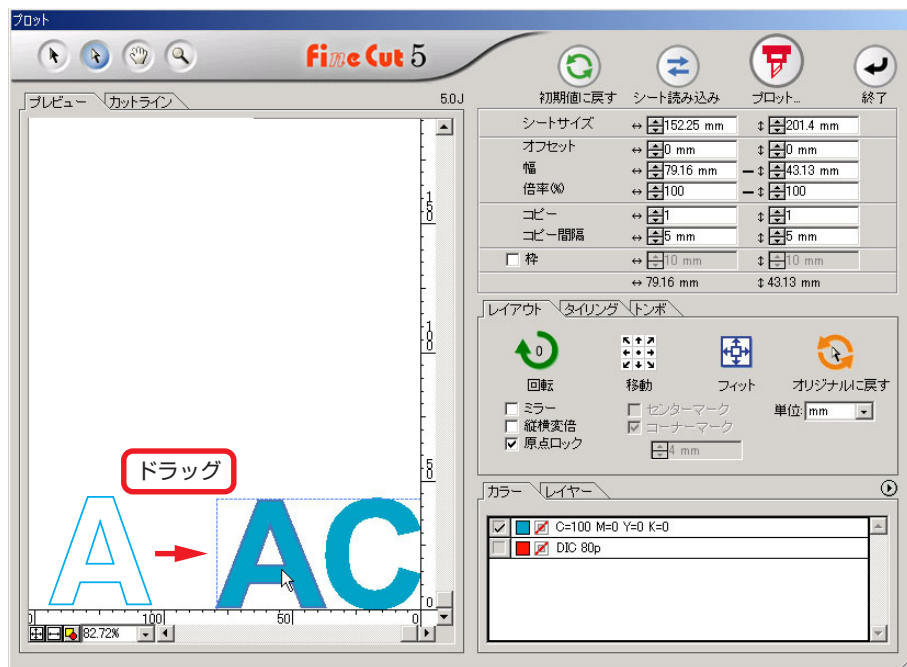


1

ダイレクト選択ツールで、移動するオブジェクトを選択します。



2 オブジェクトを選択したまま、移動する位置にドラッグします。



移動したオブジェクトを元に戻す場合は、 オリジナルに戻すボタンをクリックします。

トラッピング処理を行う

オブジェクトが重なっているレイアウトは、色の境界部分に隙間ができてしまう場合があります。トラッピング処理を行っておくと、隙間ができるのを防ぎます。

- 1 認識するオブジェクトを選択します。



- 2 「FineCut メニュー」の[トラッピング]ボタンをクリックします。
または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から [トラッピング] を選択します。

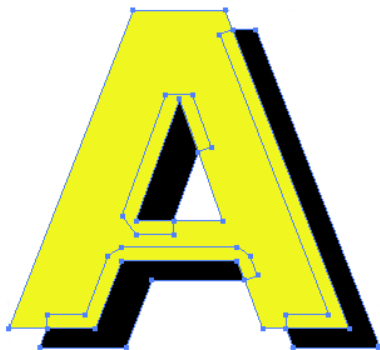


- 3 トラップサイズと重ね順の設定を行います。



リストをドラッグして、重ね合わせの順序を変更できます。
設定後、**OK** をクリックします。

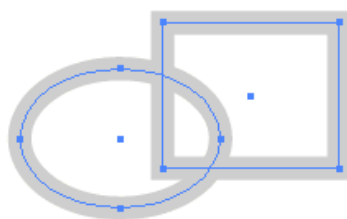
- 4 指定したサイズで重ねしろが作成されます。



線幅・重なりを認識させる

オブジェクトの線幅や重なりを認識させて、モニター上で見たままの図形にカットしてみましよう。

- 1 認識するオブジェクトを選択します。

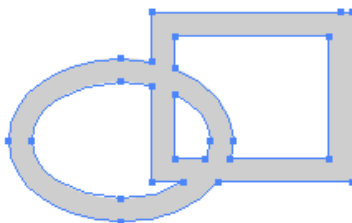


- 2 「FineCutメニュー」の[線幅・重なりを認識]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[線幅・重なりを認識]を選択します。



- 3 線幅と重なりが認識されます。



カラーライブラリを使ってシート色を指定する

FineCut CD-ROM内の「カラーライブラリ」フォルダには、各シート（フィルム）メーカー様からご提供頂いたスウォッチライブラリ、およびカラーチャート・プラグインが含まれています。カラーライブラリをインストールすると、シート（フィルム）の色見本を Illustrator 上に表示し、データの塗りつぶしや線の色として指定できます。

ご提供メーカー（順不同）

会社名	カラーライブラリ・タイプ
株式会社中川ケミカル	カラーチャート・プラグイン
住友スリーエム株式会社	スウォッチライブラリ
積水化学工業株式会社	スウォッチライブラリ
桜井株式会社	スウォッチライブラリ
ニチエ株式会社	スウォッチライブラリ

動作環境

Windows		Adobe Illustrator 7.0J ~ 10J, CS
Macintosh	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J ~ 9.02J
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J ~ 10J, CS



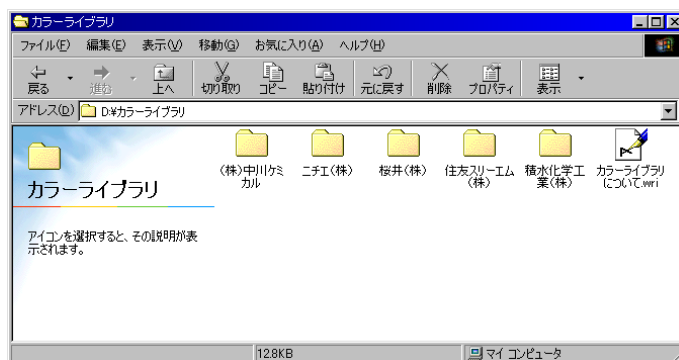
カラーライブラリを使用して発生したいかなる障害に関しても、株式会社ミマキエンジニアリングおよびカラーライブラリメーカーは責任を負いません。あらかじめご了承の上、ご使用ください。

本製品中の製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

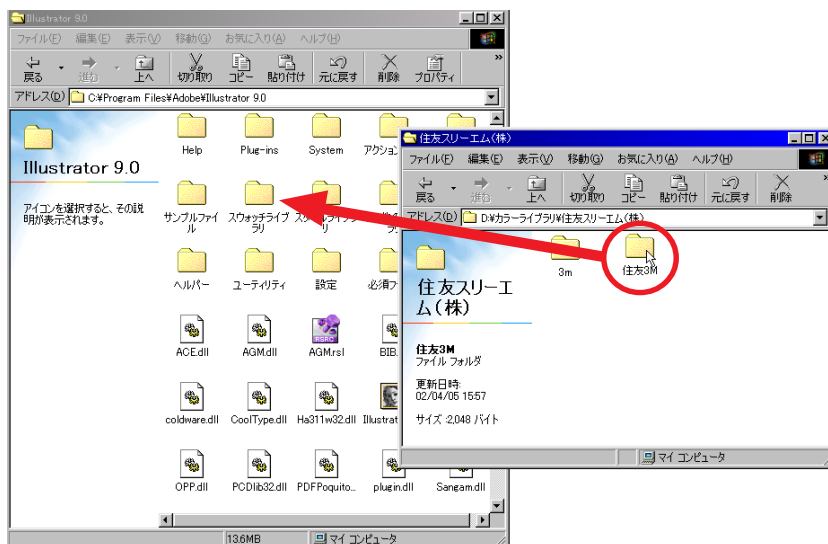
1. インストールする

スウォッチライブラリをインストールしてみましょう。
(カラーチャート・プラグインは、インストーラの指示に従ってインストールしてください。)

- 1 FineCutのCD-ROM内にある「カラーライブラリ」フォルダを開きます。

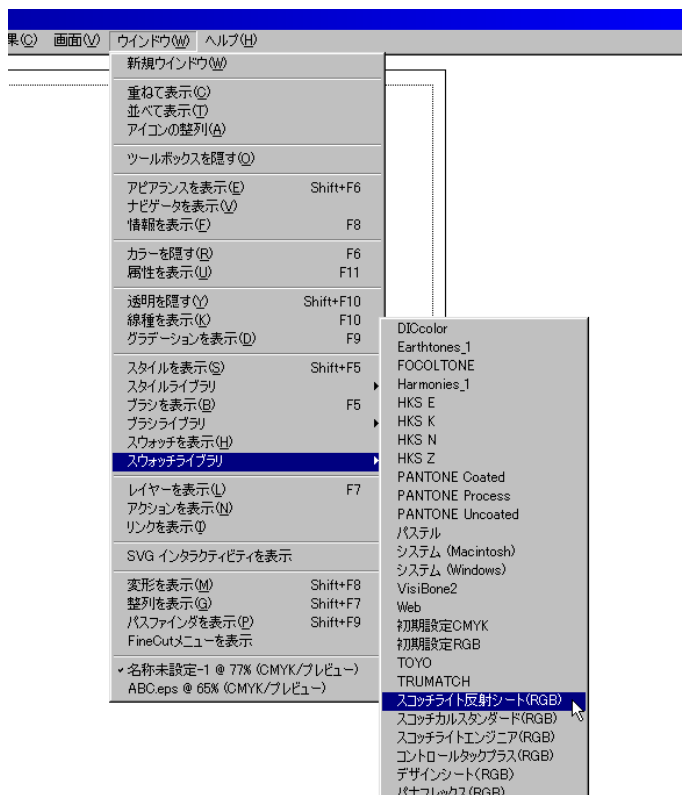


- 2 インストールするスウォッチライブラリ・ファイルをIllustratorの「スウォッチライブラリ」にドラッグ&ドロップします。
Illustrator CSの場合は、「プリセット」の中の「スウォッチ」にドラッグ&ドロップします。



2. カラーライブラリを使用する

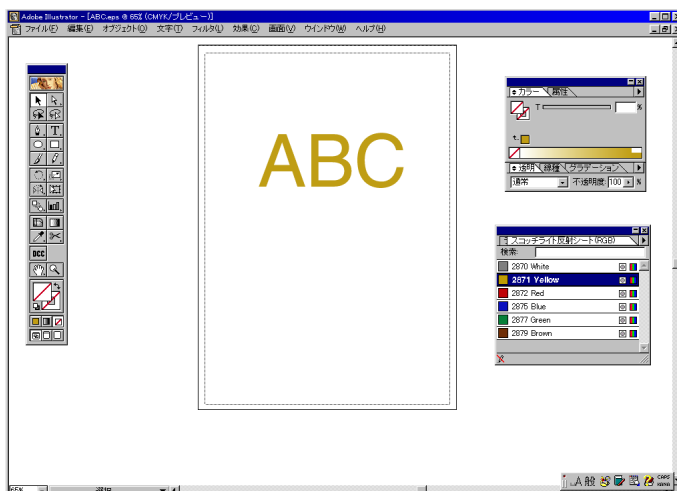
- 1 Illustrator を起動します。
- 2 Illustrator の[ウィンドウ]メニューの[スウォッチライブラリ]から、使用するライブラリを選択します。



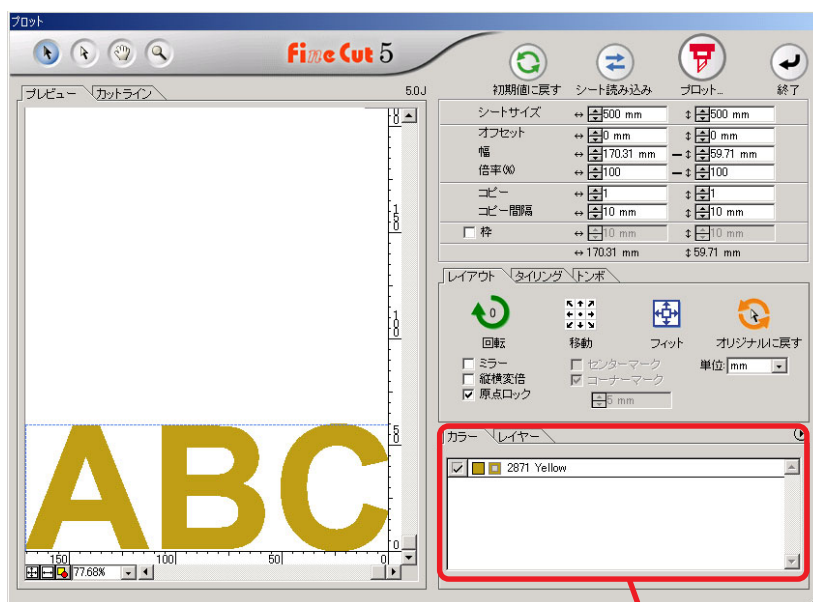
- 3 カットティングシート（フィルム）の色見本が、カラーパレットとして表示されます。



- 4 カットするデータに、カラーパレット内の色（シート名）を指定します。



- 5 「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[FineCut]から、[プロット]を選択します。



指定したシートを表示します。

- 6 指定したシートをプロッタにセットし、カットします。
(例では「スコッチライト反射シート 2871 Yellow」をセットします。)

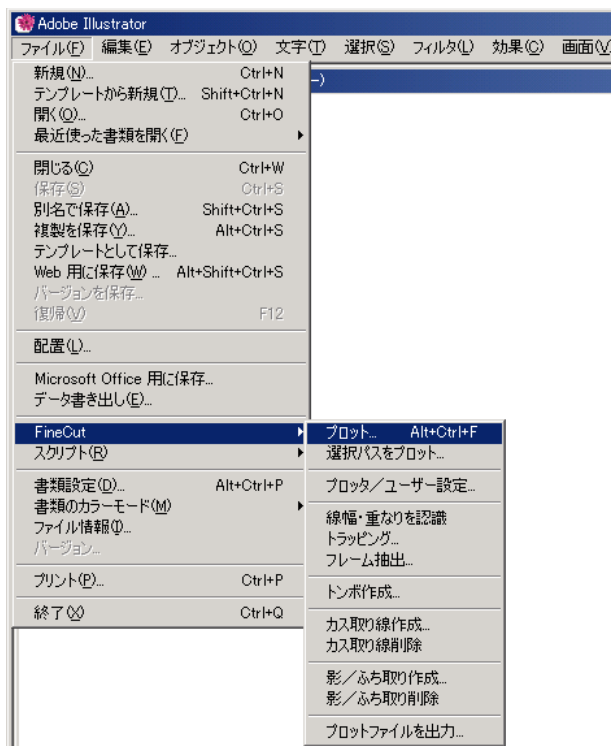
FineCut メニューについて












FineCut のメニューについて説明します。
以下の方法のいずれかでメニューを選択します。

- 1 Illustratorのウィンドウメニューから「FineCutメニューを表示」を選択します。
以下の「FineCutメニュー」を表示します。



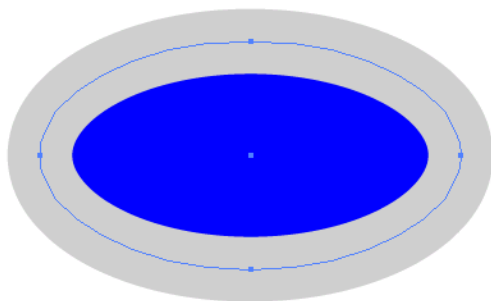
- 2 Illustratorのファイルメニューから「FineCut」を選択します。



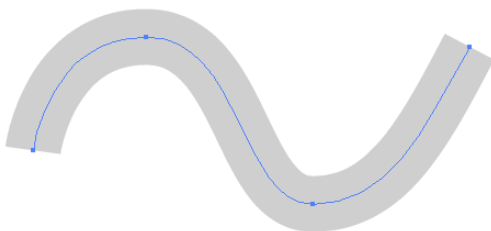
-  [プロット...]: すべてのオブジェクトをプロットします。
カットエリアを表示し、オブジェクトのレイアウトや各種オプションを設定します。また、オブジェクトをカットするために、プロッタへオブジェクトを送信します。
(⇒ 78 ページ)
-  [選択パスをプロット...]: 選択したオブジェクトのみをプロットします。
-  [プロッタ/ユーザ設定...]: お使いになるプロッタと接続するための通信条件等を設定します。(⇒ 73 ページ)
-  [線幅・重なりを認識]: 選択したオブジェクトの線幅や重なりを認識します。
(⇒ 65 ページ)
-  [トラッピング]: 選択したオブジェクトをトラッピング処理します。
(⇒ 63 ページ)
-  [フレーム抽出...]: 選択したオブジェクトにフレームを作成します。
(⇒ 47 ページ)
-  [トンボ作成]: プロッタが認識できるトンボを作成します。
(⇒ 49 ページ)
-  [カス取り線作成...]: シールを端がししやすいよう、オブジェクトの周りに切れ目(カス取り線)を入れます。
(⇒ 32 ページ)
-  [カス取り線削除]: 作成したカス取り線を削除します。
(⇒ 34 ページ)
-  [影/ふち取り作成...]: オブジェクトに影/ふち取りを作成します。
(⇒ 29 ページ)
-  [影/ふち取り削除]: 作成した影/ふち取りを削除します。
(⇒ 31 ページ)
- [プロットファイルを出力...]: 保存したプロットコマンドファイルをプロッタに出力します。
(⇒ 87 ページ)

オブジェクトの塗りと線について

下の図は、楕円の塗りを設定して、線を太らせたオブジェクトです。
線の輪郭をカットせず、塗りの輪郭（線の中心）をカットします。



塗りが無いオブジェクトは、線のパスをカットします。
線は、太い線・細い線に関係なく、パスがカット対象になります。パスは、オブジェクトを選択した場合や、Illustrator のアートワークモードで確認できます。



パスとは ...

Illustrator の描画ツールを使って作成する線です。グラフィックオブジェクトのアウトラインもパスで構成しています。Illustrator で作成した直線や長方形のアウトラインは、いずれもパスの典型的な例です。



線の幅を認識させてカットしたり、線と塗りを分けてカットする場合は、「線幅、重なりを認識させる」(⇒ 65 ページ) をご覧ください。


プロッタ/ユーザ設定について

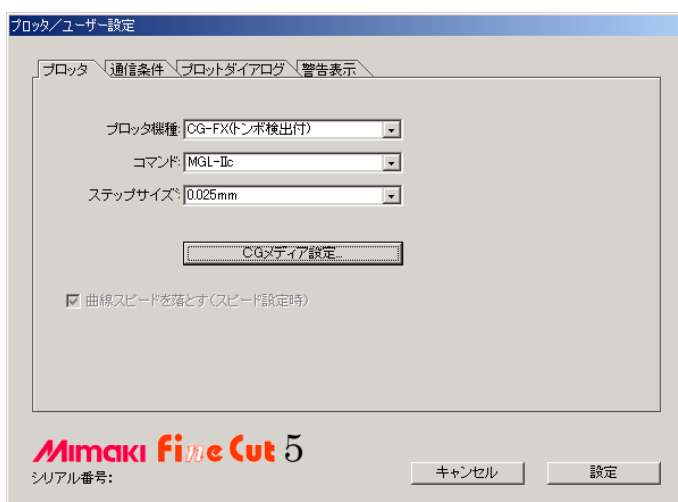
FineCutとプロッタが通信できるように、通信条件等を設定します。



注意

入力した値がプロッタ側の設定値と異なると、正常にオブジェクトの出力が行えません。必ず、プロッタの設定値と同じ値を設定してください。

「FineCut メニュー」の  [プロッタ/ユーザ設定...] ボタンをクリックします。
または Illustrator の [ファイル] メニューの [FineCut] から、[プロッタ/ユーザ設定...] を選択します。



① プロッタ

接続しているプロッタについて設定します。

詳しくは、接続しているプロッタの取扱説明書をご覧ください。

プロッタ機種： 接続しているプロッタの機種を選択します。

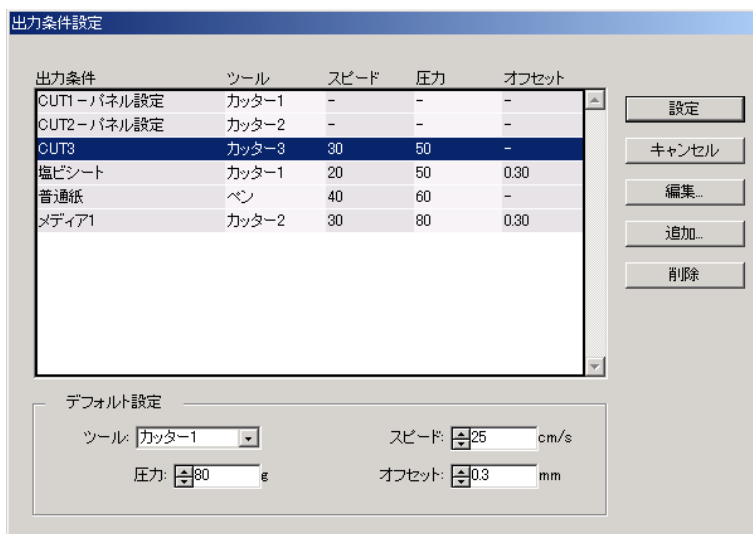
コマンド： プロッタで設定しているコマンドを選択します。

ステップサイズ： プロッタで設定しているステップサイズを選択します。

****メディア設定 ...** クリックすると、「出力条件設定」ダイアログを開きます。
(⇒74 ページ) メディア、ツールの設定が可能です。

曲線スピードを落とす (スピード設定時)：

「Mimaki CFシリーズ」をご使用の際、この機能が有効になります。チェックをつけると、曲線部分のカットスピードが落ち、曲線も滑らかにカットできます。



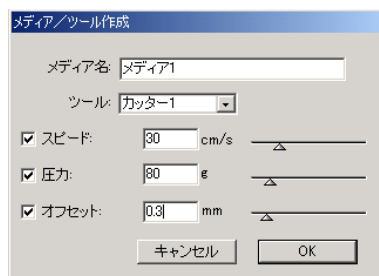
出力条件設定

「プロッタ」設定画面 (⇒ 73 ページ) で ****メディア設定** ボタンをクリックすると表示します。

出力条件： 登録済みの出力条件 (スピード/圧力/オフセット) を表示します。

変更する場合は、変更する条件を選択して、**編集** をクリック、またはダブルクリックします。(⇒ 38 ページ)

追加する場合は、**追加** をクリックします。(⇒ 38 ページ)



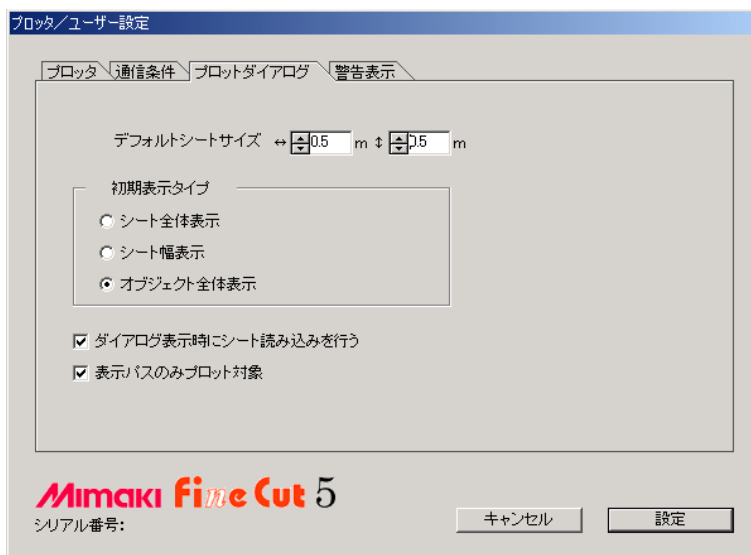
デフォルト設定： カラー別、レイヤー別に出力条件を設定した場合に (⇒ 42 ページ)、枠やマークなどの設定できない部分の出力条件を設定します。



② 通信条件

インターフェイスの通信条件を選択します。

- 通信ポート： プロッタを接続しているポートを選択します。
★「MIMAKI CG-FX シリーズ」をご使用の際は、USB 接続が可能です。(プロッタと接続し、プロッタの電源が ON の場合)「USB」を選択し右側のポップアップメニューをクリックすると、「CG-FX-xx」が表示されます。
- 通信速度： データの転送速度を選択します。(シリアル選択時)
- データ長： データビット長を選択します。(シリアル選択時)
- パリティ： パリティチェックについて選択します。(シリアル選択時)
- ハンドシェイク： ハンドシェイク方式について選択します。(シリアル選択時)



③ プロットダイアログ

デフォルトシートサイズ：

FineCutはプロットダイアログを表示する際、プロッタからシートサイズを読み込みます。この読み込みが正常に行われなかった場合、ここで指定したサイズでプレビューを表示します。

初期表示タイプ：

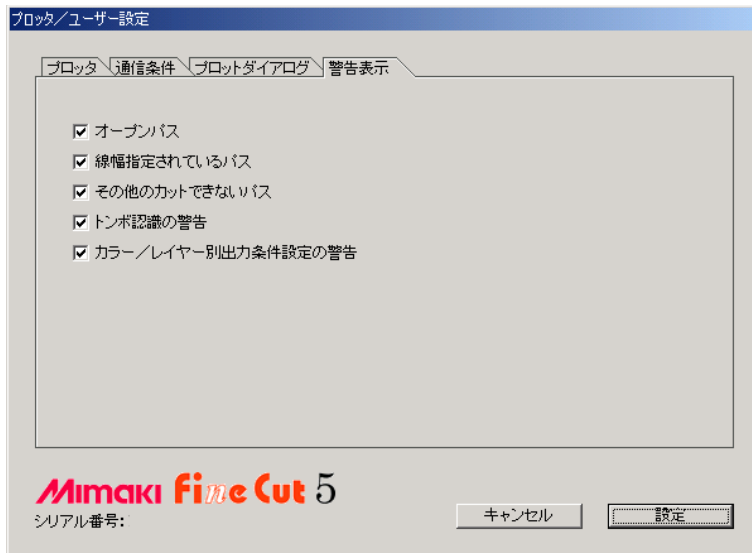
プロットダイアログを表示する際の、表示方法を選択します。

ダイアログ表示時にシート読み込みを行う：

プロットダイアログを表示する際、シートサイズを自動的に読み込みます。

表示パスのみプロット対象：

ここにチェックをつけておくと、非表示パス部分はプロット対象になりません。



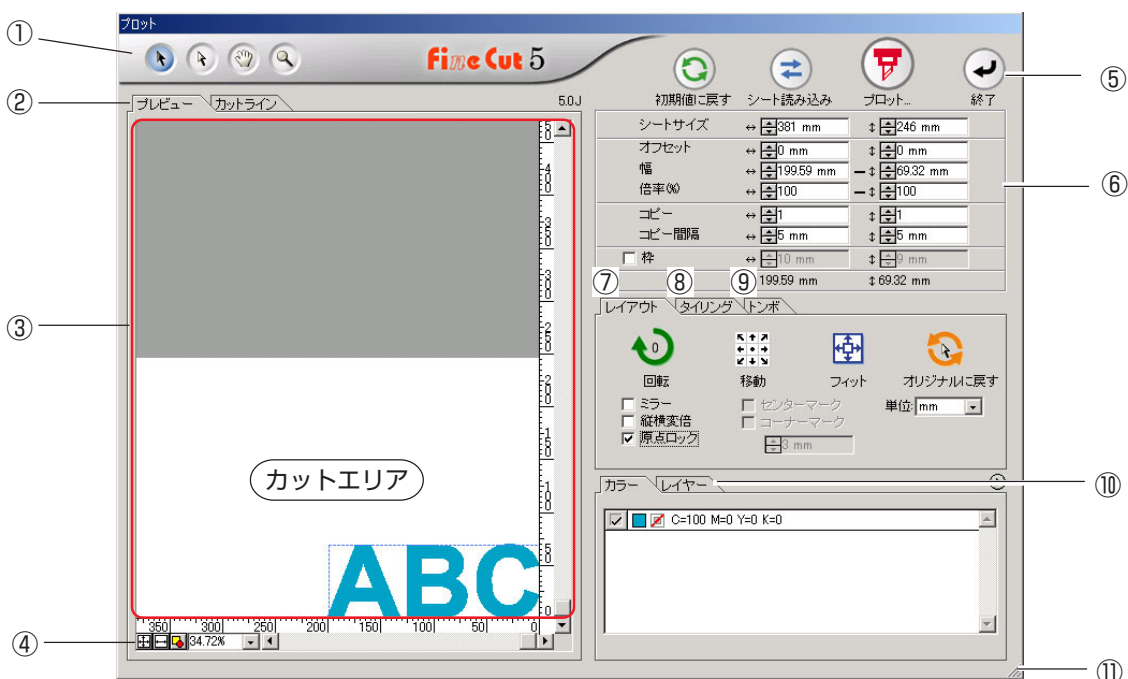
④ 警告表示

ここにチェックをつけておくと、以下の状態の際に警告を表示します。

- | | |
|---------------------|---|
| オープンパス： | パスが閉じていないオブジェクト。
(始点と終点と同じでない) |
| 線幅指定されているパス： | 線幅が指定されているパスがある。 |
| その他のカットできないパス： | グラデーションメッシュツールを使用して、オブジェクトを作成している。またはオブジェクトがラスタ画像である。 |
| トンボ認識の警告： | トンボ認識実行時の2点補正を行っている。 |
| カラー/レイヤー別出力条件設定の警告： | カラー別またはレイヤー別で出力条件を設定している。 |

プロットダイアログについて

プロットダイアログについて説明します。



① ツールボックス



選択ツール：

表示しているオブジェクト全体の移動を行います。また、タイリング機能の分割線を移動します。



ダイレクト選択ツール：

オブジェクトの一部を選択し、移動できます。シート上の空いている位置にオブジェクトを移動し、シートを無駄なく使うことができます。(⇒61 ページ)



表示領域変更ツール：

オブジェクト表示する領域を変更します。



ズームツール：

レイアウトエリアの表示を拡大、縮小します。カットエリアでクリックすると、拡大して表示します。

[Alt] キー (Windows 版), [Option] キー (Mac 版) を押してクリックすると、縮小して表示します。

②画面表示モード

表示方法を変えることができます。新規にプロットダイアログを開くと、プレビューモードで表示します。

プレビューモード : オブジェクトをカラー表示します。

カットラインモード : オブジェクトをパス表示 (アウトライン表示) します。白色のオブジェクトやカットラインのイメージを確認しやすくなります。

③レイアウトエリア

白い部分が、シートから読み込んだ有効カットエリアです。横軸にシート幅、縦軸にシートの長さを表示しています。

カットエリアからオブジェクトがはみ出ると、 プロット ボタンの左横に  マークを表示します。 マークをクリックすると、エラー内容を表示します。

④ズームサイズ表示

現在のズームサイズを表示します。



シート全体表示 : シート全体を表示します。



シート幅表示 : シート幅を表示します。



オブジェクト全体表示 : オブジェクト全体を画面全体に表示します。


%表示 : ズームサイズを%で選択、入力できます。(0.2 ~ 6400%)

⑤実行ボタン




初期値に戻る : 変更したオブジェクトのレイアウトを初期値に戻します。



シートサイズ読み込み : プロッタにセットしてあるシートサイズを読み込みます。ボタンの左横に  マークが表示されている場合は、プロッタのシート寸法が読みこめていません。プロッタをリモートモードにしてから、ボタンをクリックしてください。



プロット : 「プロッタ出力」ダイアログを表示します。(⇒ 85 ページ) ボタンの左横に  マークが表示されている場合は、カットエリアからオブジェクトがはみ出ています。オブジェクトをカットエリア内に移動、またはサイズ変更してください。




終了 : プロットダイアログを閉じます。

⑥サイズ入力エリア

シートサイズ	↔ 200.05 mm	↓ 3000 mm
オフセット	↔ 0 mm	↓ 0 mm
幅	↔ 131 mm	— ↓ 45.42 mm
倍率(%)	↔ 100	— ↓ 100
コピー	↔ 1	↓ 1
コピー間隔	↔ 10 mm	↓ 10 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 枠	↔ 5 mm	↓ 5 mm
	↔ 141 mm	↓ 55.42 mm

シートサイズ

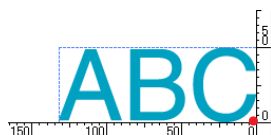
プロッタにセットしたシートの寸法を元に、カットエリアを表示します。

 シート読み込みボタンをクリックし、シートを読み込んだシートサイズを表示します。または、シート寸法（カットエリアの幅と長さ）を入力します。

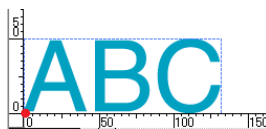
オフセット

レイアウトエリアの右下隅（Mimaki CGシリーズ）、または左下隅（Mimaki CFシリーズ）が原点になります。FineCutを起動した直後の原点位置は、レイアウトエリアの横0mm、縦0mmの位置です。原点の値を変更して、オブジェクトを移動できます。

Mimaki CGシリーズ



Mimaki CFシリーズ



幅

オブジェクトの横幅と縦幅を変更できます。

横幅と縦幅の値が連動している場合（横幅と縦幅の間に“—”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの「縦横変倍」のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

倍率（⇒19ページ）

オブジェクトの横幅と縦幅の倍率を設定します。横幅と縦幅の値が連動している場合（横幅と縦幅の間に“—”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの「縦横変倍」のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

コピー (⇒ 23 ページ)

1つのオブジェクトを横方向および縦方向にコピーする個数を入力します。

コピー間隔 (⇒ 23 ページ)

コピーしたオブジェクトの間隔を横方向および縦方向に設定します。

枠

カットするオブジェクトの周りに、枠をカットします。また、オブジェクトから枠までの距離が設定できます。枠をカットすると、不要なシートのはぎ取りが容易になります。

また、センターマーク、コーナーマークをつけると、カットしたシートを貼る際の位置合わせが簡単にできます。(⇒ 21 ページ)


全体サイズ


通常は、オブジェクトの幅と高さを表示します。


コピーで個数を入力した場合は、横方向および縦方向のコピーした個数分の長さを表示します。コピー間隔や枠が設定してあれば、その値も含まれます。


⑦レイアウト・オプション



 **回転 :** オブジェクトを時計回りに90° ずつ回転できます。矢印の中に角度 (0, 90, 180, 270) を表示します。

 **移動 :** 矢印の位置をクリックして、シートの任意位置にオブジェクトを移動します。

 **フィット :** オブジェクトを検出したシートサイズにフィットさせます。

 **オリジナルに戻す :** ダイレクト選択ツールで変更したレイアウトを元に戻します。(⇒ 62 ページ)

ミラー

オブジェクトを鏡で写したように反転してカットします。



縦横変倍 (⇒ 19 ページ)

オブジェクトの横幅と縦幅の比率を変えて、大きさを変えることができます。

原点ロック (⇒ 29 ページ)

ロックすると、オブジェクトの位置関係が保持されます。

ロックを外すと、選択した特定の色(またはレイヤー)のオブジェクトをシートの無駄なくカットできます。

センターマーク (⇒ 21 ページ)

枠を設定した際、枠の縦横の真ん中にマークをつけます。

カットしたシールを貼る際、マークを基準にして、任意の位置にシールを貼れます。

コーナーマーク (⇒ 22 ページ)

枠を設定した際、枠の四隅にマークをつけます。

カットしたシールを貼る際、マークを基準にして、シールを水平に貼れます。

単位

プロットダイアログ内での表示単位を設定します。cm、mm、inch、およびptのいずれかを設定します。

⑧タイリング・オプション (⇒ 26 ページ)




タイル分割

分割の設定を行った後、このボタンをクリックして分割を実行します。

全タイル

タイルのサイズを入力します。全て同じタイルサイズでオブジェクトを分割します。

詳細指定

自在に分割します。  選択ツールで、分割線を移動します。

サイズ表示

各タイルのサイズを表示します。

重ね代

タイルの重ね代を設定します。

施工順

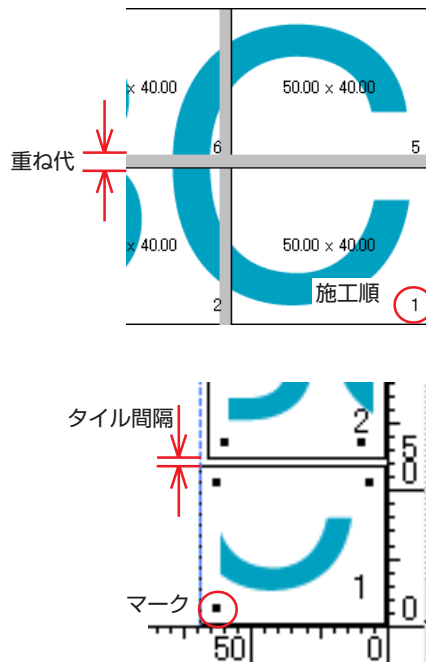
カットしたタイルを張り合わせる順番を選択します。

マーク

分割したオブジェクトにマークをつけます。
マークを合わせると、分割前のオブジェクトを
復元できます。

タイル間隔

各タイルをカットする間隔を設定します。



⑨ トンボ・オプション

トンボ認識

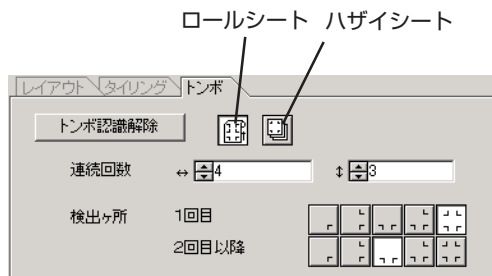
プロッタ機種で「CG-EX (トンボ検出付)」、または「CG-FX (トンボ検出付)」を選択している場合のみ、この機能が有効になります。

マークセンサー付きカッティングプロッタ「Mimaki CG-EXシリーズ」、または「Mimaki CG-FXシリーズ」でトンボ検出を実行すると、そのトンボ読み取り結果に対して自動サイズ補正を行います。

トンボ認識解除

トンボ認識を中止します。

「Mimaki CG-FXシリーズ」をご使用の場合は、ロールシートとハザイシートでの各検出方法を設定できます。(⇒ 55 ページ)



連続回数

連続認識する回数を設定します。

ロールシートの場合は、シートの各方向へデータの個数を設定します。(⇒ 55 ページ)

ハザシートの場合は、交換するシートの枚数を設定します。(⇒ 59 ページ)

検出力所

1 番目のデータのトンボ検出力所を選択します。

2 番目以降のデータのトンボ検出力所を選択します。

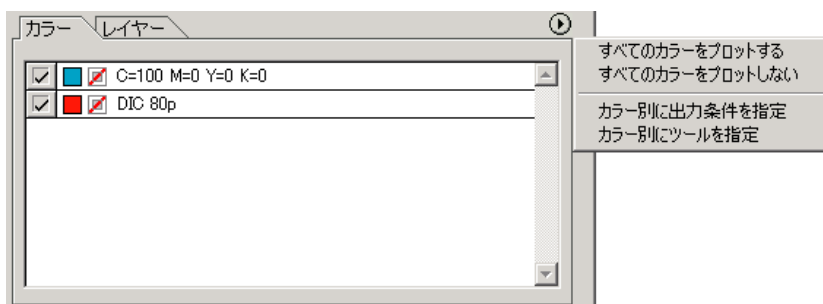
⑩ 選択リスト (⇒ 35 ページ)

オブジェクトをカラー別、またはレイヤー別にカットするかを選択し、選択した内容をリストに表示します。タイリング機能を実行すると、タイル・リストが表れます。

左端のチェックボックスに、チェックをつけたオブジェクトのみをカットします。

カラーリストでは、塗りの色、線の色を選択して各情報を表示します。


右上のボタンをクリックして、出力条件を設定できます。(⇒ 42 ページ)

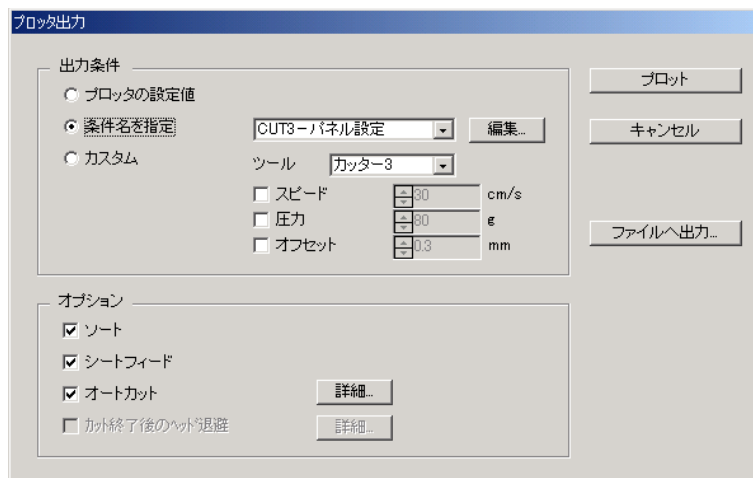


⑪ サイズ変更ボタン

ダイアログのサイズを変更したい時、このボタンをクリックしたまま、変更したい大きさにドラッグします。

プロッタ出力ダイアログについて

 プロットボタンをクリックすると、プロッタ出力ダイアログを表示します。



①出力条件

出力条件を選択します。

プロッタの設定値：プロッタで設定した値で出力します。

条件名を指定：FineCutで設定した出力条件で出力します。

編集 をクリックすると、メディアの追加や、メディア別にカット条件を設定できます。(⇒38,74 ページ)

カスタム：条件を登録せずに、出力条件を指定できます。



カラー別 / レイヤー別で出力条件を変更した場合は、この画面で編集できません。

②オプション

ソート

「Mimaki CGシリーズ」の場合、ヘッドの無駄な移動を最小限にしたソートを行い、効率良くカットできます。

「Mimaki CFシリーズ」の場合、周長の短いオブジェクトからカットするようにソートを行います。

シートフィード(「Mimaki CGシリーズ」のMGL-IIcのみ)

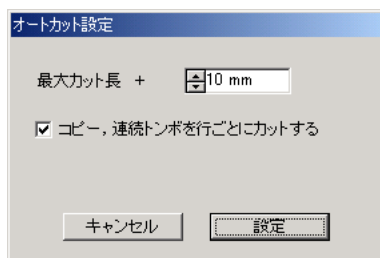
カット前に、シートをフィードして、データを最後までカットできるか確認します。



失敗した時はプロッタ側にエラーを表示します。プロットを中止し、シートをセットし直して再度プロットしてください。

オートカット

「MIMAI CG-FXシリーズ」をご使用の際、この機能が有効になります。
ロールシートで連続カットを行う場合、カット終了後、自動的にシートを切り離します。
詳細 をクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒56ページ)



最大カット長 +

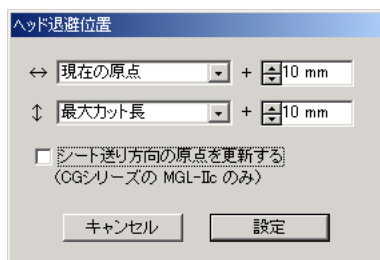
最後にプロットした行から、シートをカットするまでの長さを設定します。

コピー、連続トンボを行ごとにカットする

データを行ごとにカットするか、選択します。

カット終了後のヘッド退避

データを出力した後、ヘッドを指定位置に移動させ、データの確認を容易にします。
詳細 をクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒46ページ)



幅方向のヘッド退避位置

幅方向のヘッド退避位置を設定します。

基準位置を「現在の原点」、「最大カット幅」から選択します。

長さ方向のヘッド退避位置

長さ方向のヘッド退避位置を設定します。

基準位置を「現在の原点」、「最大カット長」から選択します。

シート送り方向の原点を更新する

ヘッドの退避位置を原点に設定します。

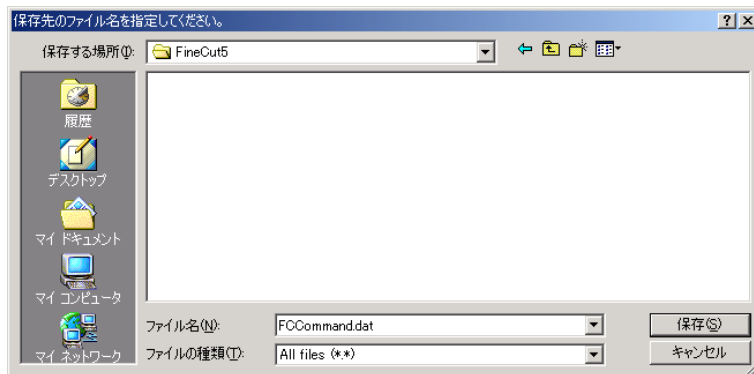


注意

原点更新は Mimaki CGシリーズの MGL-IIcのみ使用できます。

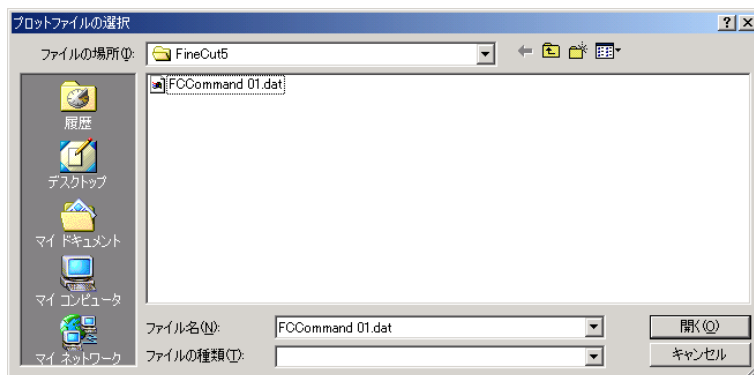
③ファイルへ出力...

プロットデータを、プロットファイルとして保存します。



保存先を選択して、「保存」をクリックします。

保存したデータをプロットする場合は、Illustratorのファイルメニューの[FineCut]から「プロットファイルを出力...」を選択します。(⇒70ページ)




プロットするファイルを選択し、「開く」をクリックします。

プロットを実行します。

シート寸法が変更できない

* コマンドが MGL-IIc の場合

プロッタ側の原点を移動して、 シート読み込みボタンをクリックしても、シート寸法は変わりません。

常にプロッタにセットしているシートサイズを表示します。この場合、レイアウトエリアのカットエリア内にデータが収まっても、データがはみ出してカットする場合があります。

* コマンドが MGL-Ic の場合

有効カットエリアを表示するため、プロッタ側で原点を移動しても、カットエリア内にデータが収まっていれば、問題なくカットできます。

線幅・重なり認識、フレーム抽出、トラッピング時にメモリ不足になる

「線幅・重なりを認識」、「フレーム抽出」、「トラッピング」機能は、複雑なオブジェクトでは大量のメモリを消費します。マシンのスペックによっては、目的のオブジェクトがメモリ不足で処理できないことがあります。

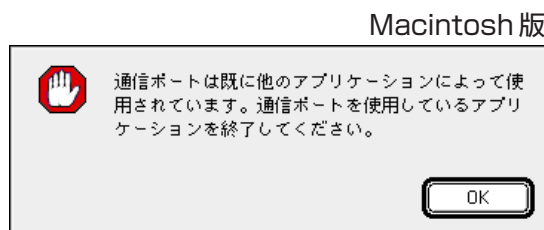
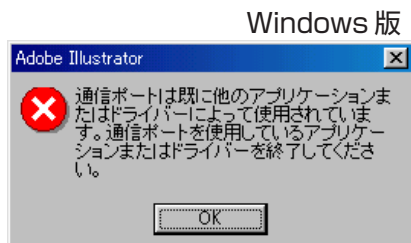
オブジェクトの種類にもよりますが、オブジェクト全てを選択して実行せず、いくつかに分割して選択して複数回実行すると、メモリ不足のエラーを回避できることがあります。

例1：複雑なオブジェクトで線幅・重なりを認識する場合、タイトルとオブジェクトで分かれているようなオブジェクトは、全てを選択せず、別々に選択して実行します。重なっている部分があれば、重なっている部分のみ選択して実行します。

例2：複雑なオブジェクトでフレーム抽出する場合、外枠があるようなオブジェクトは、外枠のパスだけを選択してフレーム抽出を実行すると、無駄なメモリを消費することなく、スピーディに処理を実行できます。

プロットの際に通信ポートエラーになる

 プロットボタンを押したら下記のエラーメッセージが表示された。



* Windows の場合

タブレットなどの周辺機器のドライバソフトでシリアルポートを占有するものをお使いの場合、通信ポートエラーが起こります。この場合は、他のシリアルポートを使用する、または周辺機器のドライバソフトを一時停止にするなどの方法で、シリアルポートを開放すると使用できます。

* Macintosh の場合

プロッタを接続しているポートが、すでにAppleTalkで使用している可能性があります。セレクトでAppleTalkを「不使用」に設定します。または、AppleTalkコントロールパネル書類で、プロッタを接続していないポートを選択してください。プリンタポートにプロッタを接続している場合は、「モデムポート」または「Ethernet」等を選択してください。



パスワードが認証されない

FineCut は、バージョンアップごとにパスワードが変更されます。

お手数ですが、CD-ROMに添付の「ユーザ登録カード」をFAXでご送信ください。新しいパスワードが取得できます。新しいパスワードが発行されるまでは、「後で登録」ボタンをクリックすると、通常にご利用いただけます。

弊社では、お客様へのサポートおよびバージョンアップサービスなどを円滑に行うため、お客様がご利用されている環境情報を弊社データベースに登録させていただいております。登録された情報は、一切外部へ持ち出されることはありません。

回り込みテキストに「フレーム抽出」、「カス取り線作成」、「影／ふち取り作成」を実行すると、不正な結果になる

IllustratorCSの[オブジェクト]-[テキストの回り込み]-[回り込みの作成]メニューで作成した回り込みテキストに、「フレーム抽出」、「カス取り線作成」、「影／ふち取り作成」を行うと、正しい結果が得られません。

回り込みテキストを[文字]-[アウトライン作成]メニューでアウトライン化してから実行すると、正しい結果が得られます。

ふち取りを作成すると、オブジェクトの中に不正なパスが作成される

パスの形状により、作成したふち取りの中に不正なパスが作成されることがあります。ふち取り作成のオフセット値を小さくするか、角の形状を変更してください。

「影／ふち取り作成」で作成した影やふち取りが削除できない

「影／ふち取り作成」で作成した影やふち取りのパスを編集すると、「影／ふち取り削除」を実行しても削除できない場合があります。

影、またはふち取りのパスをグループ解除し、手動で削除してください。

索引

記号

%表示 79

F

FC フレームレイヤー 48
FineCut ダイアログについて 10
FineCut メニュー 70

U

USB- シリアル変換アダプタ 9

I

移動 81
色別にオブジェクトをカットする 35
インストール手順
 Macintosh 5
 Windows 2

E

遠近効果 30

O

オートカット 56, 86
オブジェクト 26
オブジェクト全体表示 79
オブジェクトの拡縮 19
オブジェクトを移動する 61
オプション
 ソート 85
オフセット 48
オリジナルに戻す 81

カ

回転 81
角の形状 48
 ベベル 48
 マイター 48
 ラウンド 48
角の比率 48
影/ふち取り削除 31, 71

影/ふち取り作成 29, 71
カスタム 85
カス取り線削除 34, 71
カス取り線作成 32, 71
カットエリア 79
カット終了後のヘッド退避 45, 86
カットラインモード 79
画面表示モード 79
カラーチャート・プラグイン 66
カラーライブラリ
 インストール 67
 ご提供メーカー 66
 動作環境 66
カラーライブラリを使ってシート色を
指定する 66
カラーリスト 35, 84

キ

キャスト 30
曲線スピードを落とす 73
距離 34

ケ

警告表示 77
 オープンパス 77
 線幅指定されているパス 77
 その他のカットできないパス 77
 トンボ認識の警告 77
検出力所 84
原点 80
原点の自動更新 45
原点ロック 36, 82

コ

コーナーマーク 82
コーナーマーク 22
コピー 23, 81
コピー間隔 81
コマンド 73

サ

サイズ表示	26
サイズ変更ボタン	83
最大カット長	86

シ

シートサイズ	80
シートサイズ読み込み	79
シート寸法が変更できない	88
シート全体表示	79
シートの寸法	80
シート幅表示	79
シートフィード	85
シートを有効に使う	61
シールをつくる	47
施工順	26
終了	79
出力条件	38
の内容を変更する	38
を追加する	38
出力条件設定	74
条件名を指定	85
詳細指定	26, 28
初期値に戻る	79
初期表示タイプ	76
シリアル番号	11

ス

ズームサイズ表示	26, 79
ズームツール	78
スウォッチライブラリ	66
ステップサイズ	73

セ

センターマーク	21, 82
全体サイズ	81
全体長	80
全タイル	26, 28
選択ツール	78
選択パスをプロット	71
線の色	35
線幅・重なりを認識	65, 71

タ

ダイアログのサイズを変更したい時	84
ダイアログ表示時のみシート読み込みを行う	76
タイルング	25
タイル間隔	83
タイル分割	27
重ね代	83
サイズ表示	26, 83
施工順	26, 83
詳細指定	26, 28, 83
全タイル	26, 28, 82
タイル・リスト	84
タイルリスト	28
ダイレクト選択ツール	61, 78
裁ち落とし	48
縦横変倍	19, 82
単位	82

ツ

ツールボックス	78
追加方向	33
通信条件	75
通信速度	75
通信ポート	75
通信ポートエラー	89

テ

データ長	75
デフォルトシートサイズ	76
デフォルト設定	74

ト

トラッピング	63, 71
ドロップ	30
トンボ検出	
CG-EX シリーズの場合	51
CG-FX シリーズの場合	54
トンボ作成	49, 71
トンボ認識	83
トンボ認識解除	83
トンボを認識し、カットする	
CG-EX シリーズの場合	51
CG-FX シリーズの場合	54

ヌ

塗りと線 72

ハ

ハザイシートの連続カット 59

パスとは 72

パスワード 8, 89, 90

パスワードが認証されない 89, 90

幅 80

バリティー 75

ハンドシェーク 75

ヒ

表示パスのみプロット対象 76

表示方法 79

表示領域変更ツール 78

フ

ファイルへ出力 87

フィット 81

ふち取り 30

フリー 33

フレームオフセット 33

フレーム抽出 47, 71

フレームをつける 47

プレビューモード 79

プロッタ 73

プロッタ機種 73

プロッタ出力ダイアログ 85

プロットダイアログ 76

プロッタの設定値 85

プロッタ/ユーザ設定 71, 73

プロット 79, 71

プロット・オプション 82

プロットダイアログ 78

プロットファイルを出力 71, 87

分割 25

分割数 33

ヘ

ヘッド退避位置 45

ベベル 48

ホ

保存したデータをプロットする 87

ボックス 30

本文中の表記について 10

マ

マーク 83, 26

マイター 48

ミ

ミラー 82

メ

メディア設定 73

メモリ不足 88

ユ

ユーザー登録 8

有効カットエリア 16

ラ

ラウンド 48

レ

レイアウトエリア 79, 85

レイアウト・オプション 81

レイヤー別にオブジェクトをカットする 37

レイヤーリスト 37

連続回数 84

ロ

ロールシートの連続カット 54

ワ

枠 81

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング
<http://www.mimaki.co.jp>

東京支社

TEL 03-5420-8680

東京都品川区北品川5-9-41 TKB御殿山ビル
〒141-0001
FAX 03-5420-8686

金沢営業所

TEL 076-222-5380

金沢市駅西新町2-12-6
〒920-0027
FAX 076-222-5381

大阪支店

TEL 06-6388-8258

大阪府吹田市江坂町1-13-41 明治生命江坂ビル
〒564-0063
FAX 06-6388-8265

名古屋営業所

TEL 052-777-7245

名古屋市名東区上社1-119
〒465-0025
FAX 052-777-7309

札幌営業所

TEL 011-200-5500

札幌市中央区北2条東1-5-2 サニープリンス1F
〒060-0032
FAX 011-200-5510

広島営業所

TEL 082-876-3103

広島市安佐南区緑井6-10-14 メゾン高津屋1F
〒730-0103
FAX 082-876-3108

仙台営業所

TEL 022-213-7303

仙台市青葉区上杉1-6-22 サンビル1F
〒980-0011
FAX 022-213-7305

福岡営業所

TEL 092-612-1355

福岡市博多区吉塚5-11-15
〒812-0041
FAX 092-612-1356

さいたま営業所

TEL 048-823-3080

さいたま市浦和区常盤5-8-41 読売浦和ビル1F
〒330-0061
FAX 048-823-3090

熊本営業所

TEL 096-385-1633

熊本市新南部4-7-38 オーエムビル1F
〒862-0928
FAX 096-385-1639

長野営業所

TEL 0268-64-2377

長野県東御市加沢 1333-3
〒389-0514
FAX 0268-64-2399

お問い合わせ時間：午前10:00より午後5:00まで
営業日：月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）



D201006-1.00-20042004

© MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd. 2004